

何かをするには

あまりにも短かすぎる "時"

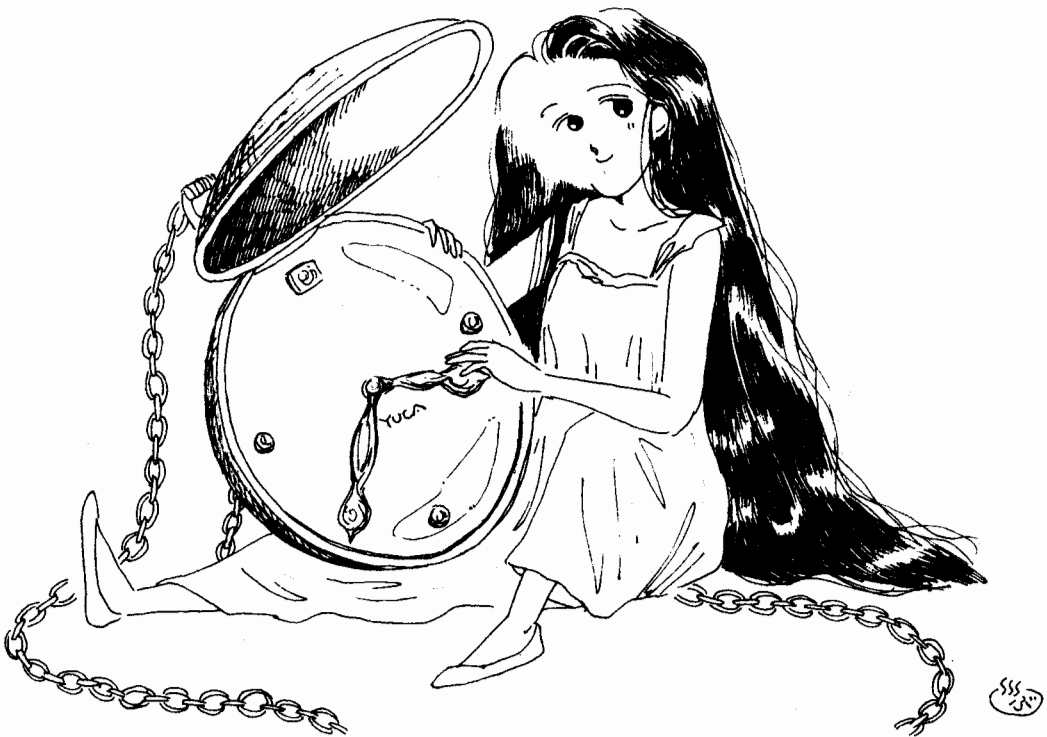
人は "時" という鎖に

つながれながらも

何かしようとする

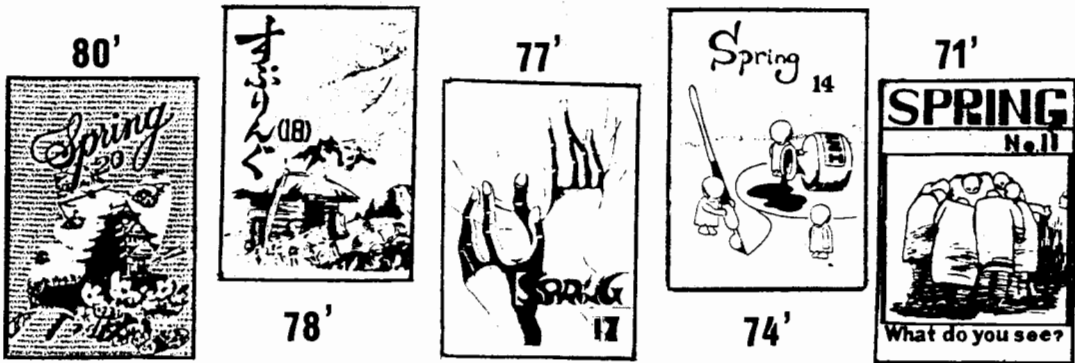
人たちがった自分だけのものを
探して探して……

それが私達であり
あなたである



目次

巻頭言	一頁
目次	二頁
自治会放談	四頁
マップ	七頁
行事紹介	九頁
修学旅行	十一頁
石川先生	十一頁
才ノ元 穰	十二頁
28号企画〈興味津々〉		
OUT OF SCHOOL		
生徒編	十五頁
先生編	十七頁
校区内紹介 (MAP)		
○うおーきんぐ第三学区	二十頁
○みゆうじあむずガイド	二三頁
○第三学区歴史めぐり	二五頁

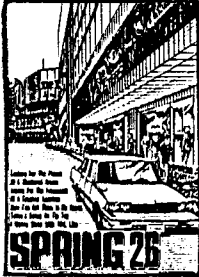


THE COVERS OF SPRINGS!!



87'

86'



84'

82'



81'

日誌より……………二七頁

「恋愛」を考える……………

○恋愛……………思いつくままに……………社会科 岸田典久……………三二頁

○古典と恋と私と……………国語科 河瀬もも子……………三三頁

○「恋は……………」……………三五頁

先生紹介……………三七頁

しいはく……………

緒方校長先生……………四十頁

小牧教頭先生……………四一頁

平先生……………四三頁

桑原先生……………四四頁

読物

「アンナの日記(レイズナー外伝)」……………一年六組 天使のたまご

「北杜夫のメルヘンのすすめ」……………一年六組 大手前純情派

「ファンタジーゾーン (THE CHOICE)」二年十一組 和田曜章

「ある英語学生の学校英語に関する小論」二年六組 双鼻成政将昌正勝

「コンピューターと私たち」三年五組 大北雄之 四組 太田尚稔

「真理のために」三年六組 ベートーベン

「共通責任論」三年六組 大河内勝秀

「立言・強制・死亡の三賢分裂」三年八組 夏目投石

クラブアンケート……………六七頁
 イラストわいわい……………七二頁
 編集後記……………七三頁

自治会放談

司会 亀岡（スプリング代表）

出席者 藤沢（前期自治会々長） 松山（同副会長） 岩谷（同

会計監査） 辻田（後期自治会々長） 中村（同副会

長） 西村（同運動部長） 岡崎、渋谷、巽（スプリン

グ代表）

司会 それでは、これから自治会紹介の座談会を始めます。み

なさんどうぞ気楽に話して下さい。では、まず学校への要
望などをどうぞ。

藤沢 そやな。文化系クラブ発表会の時に、運動系クラブの練

習を中止にするとかの、学校側の協力が欲しいなあ。

岡崎 うん。見に行きたくても練習で行かれへん人もいてるし。

藤沢 でも、文化系クラブ発表会って運動系クラブの練習の邪

魔になれへん範囲で認められてるからなあ。

西村 やっぱり運動系クラブの方が大事って思われてんのかな

あ。

谷井 そうかかもしれへんなあ。

創作ダンス部

いっしょに
おどりませう。



司会 自治会にどんなイメージを持っていますか。

（スプリング代表に）

渋谷 なんかあんまりイメージってないなあ。

巽 うん。どんな活動しているかも知らんし。

藤沢 みんな「自分が自治会員だ」という自覚がないな。もし

自治会員になれへん人がおったとするとその人は文化祭も
体育大会も出られへんというわけや。そうやのにみんな自
治会の大切さを知らんで。極端にいうたら、もし自治会が
なくなったら文化祭・体育大会がなくなるで。そうなたら
らたぶんテストの数が増えるやろな。

巽 でも、文化祭とかが自治会主催でやってるって知ってる

人は少ないと思うな。

渋谷 自治会って形式的なものとしてしか考えられてへんのと違うやろか。

藤沢 自治会の重要性は自治会がなくなってみるとわからんかもしれないな。

辻田 それに役員だけが自治会員って思ってるみたいやし。

藤沢 ここにいてる人も一年生の時はそう思ってたんとちゃう。ほとんどの人は自治会に無関心やったと思うで。

辻田 でも、無関心よりもっと深刻な問題は常任委員が常任委員会をいやがることやね。

藤沢 こんな問題が出るのも例えば各部の部長を立候補者がおらんから仕方なくクジ引きなんかで決めるなんてことがあるからやね。この学校にはもっと本部役員にふさわしい人がいてると思うけど。自治会は自分達で動かすねんからやろうと思えば何でもできんねんし。

西村 自治会をみんな食わず嫌いしてんのかな。

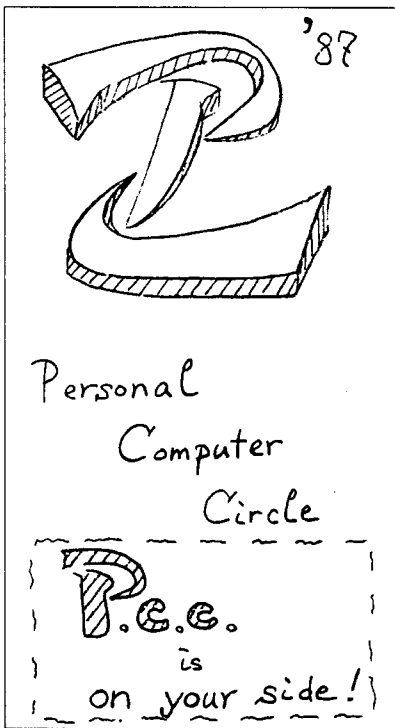
藤沢 その雰囲気をなんとかするには学校側の協力も必要やね。自治会改革はここ40年ぐらいつとやってきてるのにできへん、というのはやっぱり生徒の手には負えないものもあるんと違うかな。

るんと違うかな。

辻田 でも、学校を動かすには生徒の結集が必要やねん。それをしようと思ったら自治会が動かなあかん。そのためにはクラスが動かなあかん。そしてそのためには生徒が動かなあかん・・・ていうて問題はめぐりめぐんねんな。

松山 だからまず常任委員会を改革しなあかんわ。議論を常任委員会でするようにな。常任委員が常任委員会をいやがってたらあかんわ。変えられるのは常任委員会しかないねんから。

岩谷 常任委員みんなが生徒の代表という意識を持って欲しい。責任は重いけどそれを重荷にせず自信として動いて欲しい。



自治会放談

司会 亀岡（スプリング代表）

出席者 藤沢（前期自治会々長） 松山（同副会長） 岩谷（同

会計監査） 辻田（後期自治会々長） 中村（同副会

長） 西村（同運動部長） 岡崎、渋谷、巽（スプリ

ング代表）

司会 それでは、これから自治会紹介の座談会を始めます。み

なさんどうぞ気楽に話して下さい。では、まず学校への要

望などをどうぞ。

藤沢 そやな。文化系クラブ発表会の時に、運動系クラブの練

習を中止にするとかの、学校側の協力が欲しいなあ。

岡崎 うん。見に行きたくても練習で行かれへん人もいてるし。

藤沢 でも、文化系クラブ発表会って運動系クラブの練習の邪

魔になれへん範囲で認められてるからなあ。

西村 やっぱり運動系クラブの方が大事って思われてんのかな

あ。

谷井 そうかもしれへんなあ。

創作ダンス部

いっしょに
おどりませう。



司会 自治会にどんなイメージを持っていますか。

（スプリング代表に）

渋谷 なんかもあんまりイメージってないなあ。

巽 うん。どんな活動しているかも知らんし。

藤沢 みんな「自分が自治会員だ」という自覚がないな。もし

自治会員になれへん人がおったとするとその人は文化祭も
体育大会も出られへんというわけや。そやのにみんな自
治会の大切さを知らんで。極端にいうたら、もし自治会が
なくなったら文化祭・体育大会がなくなるで。そうなた
らたぶんテストの数が増えるやろな。

巽 でも、文化祭とかが自治会主催でやってるって知ってる
人は少ないと思うな。

渋谷 自治会って形式的なものとしてしか考えられてへんのと違うやろか。

藤沢 自治会の重要性は自治会がなくなってみるとわからんかもしれないな。

辻田 それに役員だけが自治会員って思ってるみたいやし。

藤沢 ここにいてる人も一年生の時はそう思ってたんとちゃう。ほとんどの人は自治会に無関心やったと思うで。

辻田 でも、無関心よりもっと深刻な問題は常任委員が常任委員会をいやがることやね。

藤沢 こんな問題が出るのも例えば各部の部長を立候補者がおらんから仕方なくクジ引きなんかで決めるなんてことがあるからやね。この学校にはもっと本部役員にふさわしい人がいてると思うけど。自治会は自分達で動かすねんからやろうと思えば何でもできんねんし。

西村 自治会をみんな食わず嫌いしてんのかな。

藤沢 その雰囲気をなんとかするには学校側の協力も必要やね。自治会改革はここ40年ぐらいつつやってきてるのできへん、というのはやっぱり生徒の手には負えないものもあるんと違うかな。

辻田

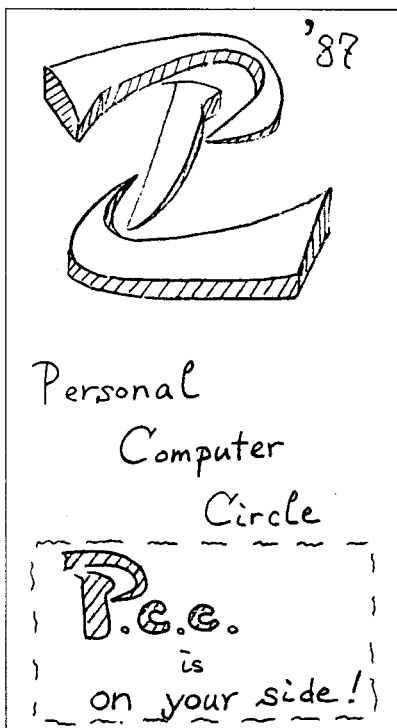
でも、学校を動かすには生徒の結集が必要やねん。それをしようと思ったら自治会が動かなあかん。そのためにはクラスが動かなあかん。そしてそのためには生徒が動かなあかん。・・・ていうて問題はめぐりめぐんねんな。

松山

だからまず常任委員会を改革しなあかんわ。議論を常任委員会でするようにな。常任委員が常任委員会をいやがってたらあかんわ。変えられるのは常任委員会しかないねんから。

岩谷

常任委員みんなが生徒の代表という意識を持って欲しい。責任は重いけどそれを重荷にせず自信として動いて欲しい。



中村 このスプリングを読む人の中にはきつと自治会役員にふさわしい人がいると思うよ。これからの自治会を変えるのはこのページを読んでも「君」やで。

司会 それでは最後にみなさん一言どうぞ。

岩谷 いろいろ自治会も問題があるけど、やって良かったと思うしすごくやりがいのある所だと思う。

松山 いたらぬ点が多くてみんなに迷惑かけた点もあるけど、役員をやって良かったと思うし、もっといろんなことをやってあげば良かったと思う。やろうと思えば自治会は何でもできるんだから。

中村 会議をもっと楽しくやっていきたいです。

西村 どのクラスにも絶対、積極的な人はいるから、他の人ももっとそういうふうになって欲しいです。

藤沢 自治会役員やって「いややった！」て言うた人は今までいてないことをみなさんにわかって欲しいです。

辻田 何でもやってみることですね。失敗してもいいから。

司会 みなさん今日はありがとうございました。これから、

自治会活動がんばって下さい。

放送委員会

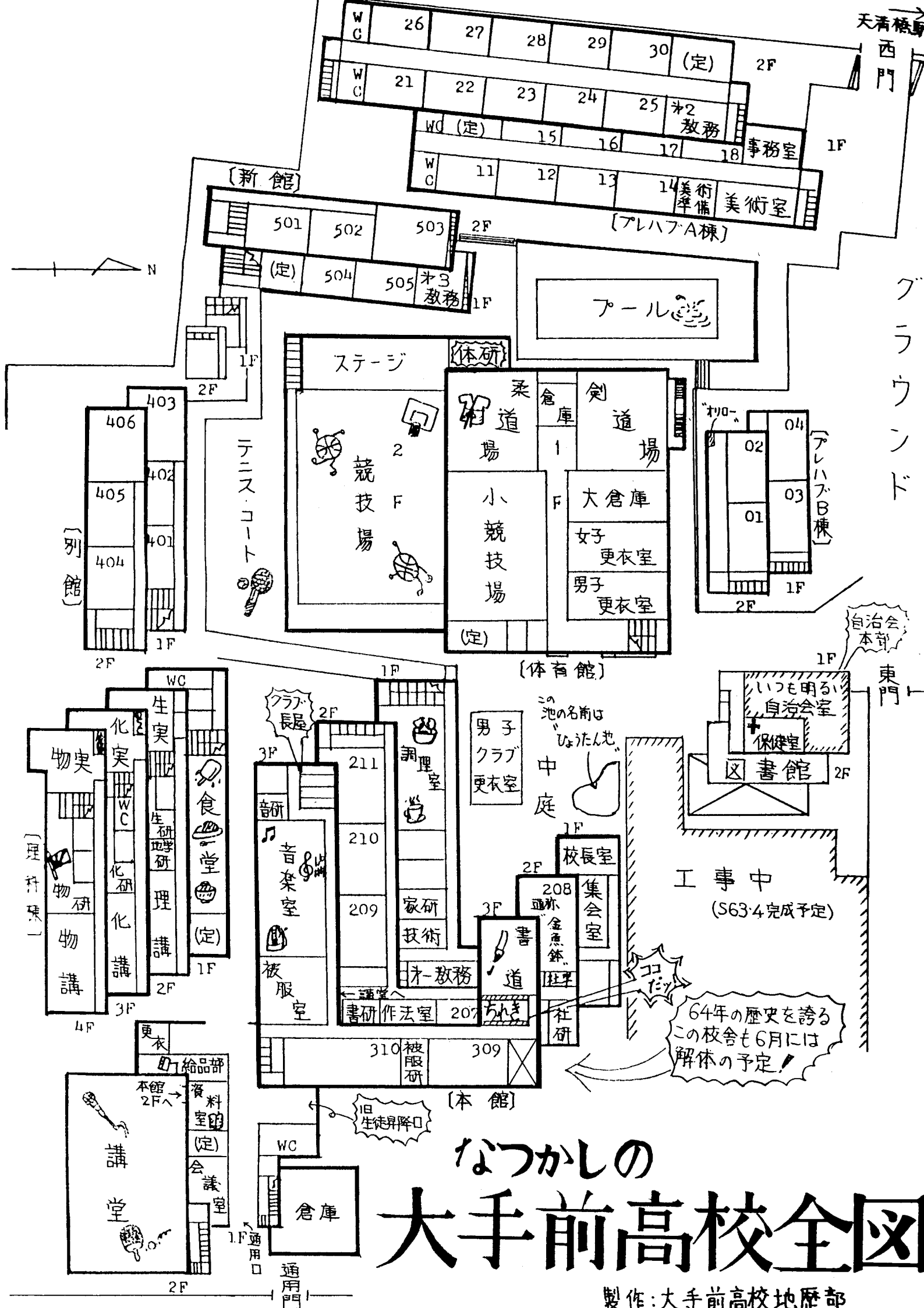
「放送委員会」というものを知っておられますか。我が校の自治会行事の際に、放送機材のセッティングや、アナウンスを担当したりするいわば「自治会行事の影の仕掛人」です。

この委員会は、クラブではなく、有志の集まりです。他のクラブとかけもちしている委員も多くいます。ちょっと活動の場は少ないですが、責任は重要ですから、非常にやりがいがあります。

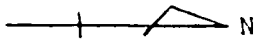
といっても、委員会でもやりたい放題という訳でなく、自治会の常任委員会の指揮下にあり、本部と協調して、各行事を成功させていくのです。

組織としては、委員長の下に、技術部とアナウンス部があります。只今技術部の人員が不足で悩んでいます。またアナ部は盛況でして本年は二、三名のみの採用とする予定です。特に技術部を募集していますのでやってみたいなあという人は、金蘭会館一階自治会本部室まで来て下さい。但しアナ部は女子のみで、五月中にはメッキリますのでお早めに。

END



天清橋
西門



グラウンド

自治会本部
東門

工事中
(S63.4完成予定)

64年の歴史を誇る
この校舎も6月には
解体の予定!

なつかしの 大手前高校全図

製作:大手前高校地歴部

[新館]

[アレハブA棟]

[アレハブB棟]

[体育館]

[本館]

[列館]

[理科棟]

ステージ

プール

テニスコート

競技場

柔道場

大倉庫
女子更衣室
男子更衣室

小競技場

男子クラブ更衣室

自治会本部
保健室

図書館

校長室

集会室

書道

社研

310 被服研

旧生徒昇降口

倉庫

講堂

会議室

資料室

給品部

更衣

被服

音楽室

音研

調理室

家研

技術

オ-教務

書研

211

210

209

208

207

206

205

204

203

202

201

200

199

198

197

196

195

194

193

192

191

190

189

188

187

186

185

184

183

182

181

180

179

178

177

176

175

174

173

172

171

170

169

168

167

166

165

164

163

162

161

160

159

158

157

156

155

154

153

152

151

150

149

148

147

146

145

144

143

142

141

140

139

138

137

136

135

134

133

132

131

130

129

128

127

126

125

124

123

122

121

120

119

118

117

116

115

114

113

112

111

110

109

108

107

106

105

104

103

102

101

100

99

98

97

96

95

94

93

92

91

90

89

88

87

86

85

84

83

82

81

80

79

78

77

76

75

74

73

72

71

70

69

68

67

66

65

64

63

62

61

60

59

58

57

56

55

54

53

52

51

50

49

48

47

46

45

44

43

42

41

40

39

38

37

36

35

34

33

32

31

30

29

28

27

26

25

24

23

22

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

行事紹介

四月 入学式

大手前高校に入ることができたことを心から喜べるこの日、期待と不安に満たされて門をくぐりました。
オリエンテーション

新入生に学校生活の様々なことについて説明されます。
クラブ紹介

運動系と文化系に分けて、二日間かけて行われます。よく考えて決断して下さい。

自治会立合演説会・認証式

五月 創立記念日（五月一日）

校外教授

いわゆる遠足です。

中間考査

バレーボール大会

学年の枠を超えてクラスマッチで行われます。（一年生は二・三年生の迫力に負けないようにがんばりましょう。）

六月 文化祭

他の高校とは異なり雨の多い六月にあり、第一部・第二部が一日目、第三部が二日目に行われます。内容は次の通りです。

第一部：校内のいたる所でバザー・喫茶及びクラス

発表や文化系クラブによる展示・劇・映画等々たくさん催しが行われます。

第二部：第一部終了後夕方にかけて、校内グラウンドでフォークダンス等が行われます。

第三部：学校近くの国民会館・学校内の講堂・金蘭会館の三ヶ所に分かれて、コーラス大会の決勝・文化系クラブの発表・映画などが催されます。

（注：コーラス大会の予選が六月初旬に行われ、それに勝ち残ったクラスだけが参加できる。）

七月 期末考査

水泳訓練（一年のみ）

緑地公園のプールで六日間行われます。

九月 水泳大会

夏休み明け早々にあり、プールサイドいっばいに応援席が並べられ、大変盛り上がりがあります。

体育大会

運動場をいっばいに使って、水泳大会よりも更に盛り上がりがありますが、応援の方法も上の学年になるほど凝った内容になります。

十月 自治会立合演説会・認証式

中間考査

修学旅行（二年）

二年生には待ち遠しい行事です。この機会に友情を深めましょう。（一・二年はお土産を待っています。）

校外教授（一・三年）

十一月 文化系クラブ発表会

文化系クラブ・同好会だけでこの発表会も、秋の恒例の行事となっています。が昭和六十三年度よりなくなってしまうという話が出ています。どうなってしまうのでしょうか。もしあったなら大変工夫のこらされているこの行事を見に行きましょう。

校内大会

男子：バスケットボール（昼休みと放課後を使って）

女子：ハンドボール（行われます。）

十二月 期末考査

スケート教室

桜宮スケートリンクで三日間行われます。（自由参加）

一月 予餞会

三年生を送り出す会です。この後はほとんど三年生は来ません。（別名追い出し会と呼ばれる？）

二月 大阪城マラソン大会

男子は大阪城の外堀を半袖・短パンで二周・女子は半袖・ブルマーで一周走ります。

校内大会

男子：サッカー

女子：バスケットボール

三月 学年末考査

スキー教室

電車とバスで信州へ四泊五日で行きます。（自由参加）

図書委員会

・カウンターでの受付と本の整理、図書館報

“COGITO” “Library Times”の発行が
主なしごとです。

・帯出について特典あり!

—— 詳しいことは図書館まで

「知識の宝庫——図書館へ
みなさん どうぞ



例年とは違った修学旅行を終えて、この修学旅行のお世話をしていたいただいた石川先生と、修学旅行委員長のオノ元君に感想等を述べてもらいました。

修学旅行を終えて

保健体育科 石川 満

この旅行の世話をさせていただきましたが、私の感想を述べるよりも、まず旅行後の生徒諸君の感想文より、ピックアップしてみます。

船 ○夜の間移動ができるため広範囲の移動が可能だし、ゆっくり見学地を見る時間がとれた。

○同じ部屋を使うので、親しみもわいてくるし、荷物を持ち運びしなくてもよいので楽だった。

○天候に左右されるのが船旅の欠点だと思ったが、よっぽどの事がない限り、計画に支障をきたすことはないということが今回の旅行で実証されたと思う。

クラス ○雰囲気がいよ良くなった。

○集団生活が、こんなにうまくいくとは思わなかった。皆がやれば、できるのだとつくづく思った。

○クラス対抗演芸会で船の揺れの中でのクラス全体のダンスでは、どんな荒波にも負けない固い団結を感じることができた。

印象 ○船員の方やそれぞれ訪れた地元の人とのふれあいは何事も替えられない大切な物を受け取ったような気がした。屋

久島では自然のすばらしさを味わえた。沖縄では戦争について考えさせられた。種子島では宇宙の偉大さを感じ、未来への希望を持った。これからもこの修学旅行を続けて欲しい。

○沖縄では、自分達の知らない戦争を、どのように直接現地へ行き、色々遺留品等を見てみると、映画や話で見たり聞いたりしたより、ずっと心をうたれ、これから戦争ということなどをどのように考えていくかを教えられたような気がした。できれば、もう一度ゆっくり平和祈念資料館へ行ってみたい。

○旅行の前と後で意識が変わった。沖縄関係の新聞記事等により、関心を持って見るようになった。

友情 ○中間テスト前からの迷いのようなものが消えた。これはかなり個人的なものだが、おかげで、今少しずつ勉強が手につくようになった。種子島の海岸を友達と歩いて、潮風に吹かれて、話を聞いてくれた友達に感謝。そして旅行全体で一番大きなものを得たような気がする。

自己 ○日頃、滅多に経験できない色々なことが体験できて、日頃の自分を省みることができた。沖縄を訪れることによって引き締った自分になったのかもしれない。あれほど美しく、素晴らしく、雄大な山や海を目の当りにして、深く自分を考えることができたと共に、自然の素晴らしさに感激した。船長さんも素晴らしいお人柄だった。

○自分が一回り大きくなった気がします。この旅行は私の一つの宝物になりました。

気がつくところには締切日だった。

○船酔い防止運動を自分で練習したら、「コツ」みたいなものがわかって一人で喜んでいました。

○この旅行のためにがんばっている人々を見て、自分を恥ずかしく思った。これからは、いろいろな意味で、大きな人間になりたいと思う。この旅行は、本当に自分を見つめ直す絶好の機会だったと思う。

○これからも、この旅行をもとに、どんどん新しい困難な事にも取り組んでいけるような気がします。

○何でもやればできることを知った。耐えることを教わった。団結することのすばらしさも知った。

以上の修学旅行の感想の中に、その意義が言い尽くされていると思いますが、私の感想も述べたいと思います。この旅行は、私自身にとっても一生の思い出となるもので、今までの五回の九州への修学旅行では味わえないものでした。

ほとんど全員が参加し、全員が無事に帰って来たことが一番嬉しいことですが、体育の時間に見学をしている生徒が、クラス対抗演芸会で、クラスの皆と楽しそうにダンスをしているのを見て感激したことが一番印象に残っていることです。

そして、感想文からもわかりますが、

一、旅行前と後とは、見学地に対する認識が変わった。

二、生徒自身がセルフ・コントロールできることを知った。

三、クラスの和、つまり団結力を知った。

等、生徒自身が自分の新たな能力を発見したことも感動しました。又、船長さんの人柄もすばらしかったですね。閉校式での涙は君

達の能力のすばらしさに感動してのものだったと思いますし、その時の言葉「地球は人間の心を知っている。」は、皆の心の中にしっかりと刻まれていると思います。

この旅行の目的である、『授業では得られない貴重な勉強をする』ということとは、十分達成されたと思いますし、この旅行のサブ・タイトルである「島おこし」は、実は「自分おこし」なのであることがわかってもらえたのではないのでしょうか。

この旅行により、生徒諸君の能力の素晴らしさを見せられ、感動しました。その素晴らしさがわかったと同時に、私自身が、生徒諸君に教えられ、この旅行に教えられたことに対して、今はただ感謝の念でいっぱいです。

そして、この旅行により、勉強にも行事にもがんばる、生き生きとした、ダイナミックな大手前高校の第一歩を踏み出したと思います。

思 い 出

修学旅行委員長 オノ元 穰

ニューユートピアという豪華客船で、屋久島、沖繩、種子島に行った。これらの島は九州南部に位置するが、それぞれ独特の特色を持ち、変化に富んだ見学ができた。又、五日間の洋上生活は、普段味わえないものばかりだった。そしてユートピアでの開校式で待ちに待った修学旅行が始まった。

二日目に屋久島に到着した。屋久島といえば、標高二千メートル

を誇る屋久杉ランドだ。樹齢何千年という屋久杉が今なお現存していて、とても寒く霧に包まれ神秘的だった。又、道中、屋久ザルにも出会うことができた。川には橋がかかっている所があり、そこでは岩をつたって行かなければならず、足を踏みはずして、服を濡らすという人もいた。まさにこれぞ大自然という印象を受けた。

屋久島からでも十分見え、全く地形が違うのが四日目に行った種子島だ。この島は標高三百メートル程で細長く、丸くて高い屋久島とは対照的だ。種子島は宇宙開発、鉄砲伝来の地として知られている。宇宙センターではロケットの構造や、打ち上げなどが展示されている。鉄砲館には豊富な資料があり、鉄砲について詳しく知ることが出来た。海岸近くの芝生では、希望者によるフォークダンスをした。潮風を受けて踊るのも楽しいものだった。

この修学旅行の中心はなんといっても沖縄だ。沖縄というと青い海とサンゴ礁、南国の異国情緒あふれる島と思いがちだが、今回の旅行で沖縄の戦争の深い傷跡を知った。摩文仁丘の平和祈念資料館では、沖縄戦と住民のことが展示されていた。中でも証言の部屋に書かれていた住民の言葉には胸を打たれた。家族同志で殺し合った人もいれば、何とか生き延びようとして必死で逃げた人もいたようだ。沖縄は日本唯一の戦場地だった。そのため日本兵士は、沖縄住民は邪魔になるという理由で集団自決を強いたのだった。中学生達は兵隊として、高女生達は看護班として戦場を駆けまわった。そして彼らの半数は戦場に倒れた。沖縄は本土と全く違った被害を受けた。今年には沖縄が本土に復帰して十五年目にあたっているが、沖縄住民にとっては戦争は終わっていない。というのは広大な米軍基地が置かれているからだ。これは沖縄総面積の11%、日本全国の米軍

基地の75%を占めている。今日もまた米軍の軍事演習が行われ、これに伴う事故、環境破壊、米兵による犯罪が続発している。この資料館では私達に、このような現実をどう受けとめるべきかを語ってくれたように思う。青く透き通った海からはとても想像できない沖縄の真の姿について考えさせられた一日だった。展示の結びにこんな言葉があった。「戦争を起こすのはたしかに人間です。しかしそれ以上に戦争を許さない努力のできるのも私達人間ではないでしょうか。」沖縄ではこの他全長五キロメートル、東洋で最も美しいといわれる玉泉洞や、サンゴセンターでの琉球舞踊を見学した。本土とは全く違った風土に接することができた。

船内では、一日目にミニ文化祭として、文化系クラブの演奏、演技、広田先生の星の話が各部屋に分かれて行なわれた。最後の夜にはクラス対抗演芸会が開催された。どのクラスの演技もそれぞれ特色がよく表れていた。練習した成果が十分に発揮されたようだった。今まで以上にクラスがまとまったのではないだろうか。

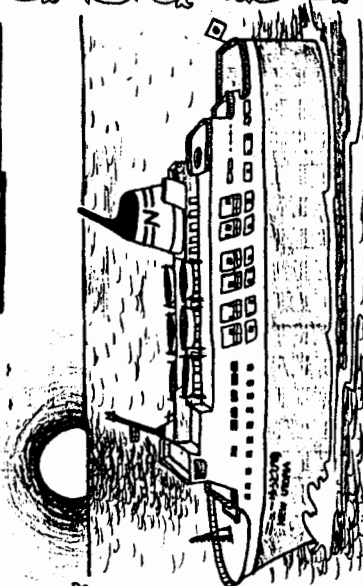
また友達との食事、入浴、夜遅くまで語り合ったことも忘れることができない。台風の影響で船が揺れ、船酔いしたことも良き思い出となることだろう。この他一人では日頃体験できない、もしかするともう二度と見ることも出来ないものに出会えたことも、非常にすばらしいことだと思う。高校生活での最大の行事「修学旅行」は大成功だった。

旅 程 表

10/22 (木)	13:30 大阪・天保山発	
10/23 (金)	<p>8:30着 A: 宮ノ浦港 → 屋久杉ランド → 尾之間自然公園 → 宮ノ浦港 9:00発 (写真)</p> <p>8:30着 B: 宮ノ浦港 → 尾之間自然公園 → 屋久杉ランド → 宮ノ浦港 9:00発 (写真)</p>	<p>17:00 宮ノ浦港</p> <p>17:00 宮ノ浦港</p>
10/24 (土)	<p>8:30着 A: 那覇新港 → 名城ビーチ → 玉泉洞 → 摩文仁丘 9:00発 (写真)</p> <p>—— サンゴセンター(ショッピング・琉舞) —— 那覇新港 18:00</p> <p>8:30着 B: 那覇新港 → 名城ビーチ → 摩文仁丘(平和祈念) → 玉泉洞 9:00発 (写真)</p> <p>—— サンゴセンター(ショッピング・琉舞) —— 那覇新港 18:00</p>	<p>(平和祈念資料館) 摩文仁丘 (写真)</p> <p>18:00 那覇新港</p> <p>(写真) 平和祈念) → 玉泉洞 (昼食→サンゴ園) 18:00</p> <p>18:00 那覇新港</p>
10/25 (日)	<p>10:00着 A: 西之表港 → 種子島宇宙センター → 鉄砲資料館 → 西之表港 10:30発 (写真) 昼食(弁当)</p> <p>10:00着 B: 西之表港 → 鉄砲資料館 → 種子島宇宙センター → 西之表港 10:30発 (写真) 昼食(弁当)</p>	<p>18:00 西之表港</p> <p>18:00 西之表港</p>
10/26 (月)	11:30 大阪・天保山着	

修学旅行

(島めぐり)



屋久島・沖繩・種子島

昭和62年10月22日(木)~26日(月)

大阪府立大手前高等学校

DESIGNED BY KAWANO

「最潮だ！」という間はまだまだ最潮ではない。

興味津々

日頃、何げなく見ているものを角度を変えて見てみると、今まで知らなかったいろんなものが見えてくる。

自分たちの住んでいる町なのに知らなかったことがたくさんあること。

いつも一緒にいる友達なのに学校以外での彼らのことは、ほとんど知らないこと…。

日直ごとに書いている日誌…。じっくり読むことがほとんどないこと…。

恋愛誰しも興味のあることなのに誰も熟考したことがないこと。

自分たちの知らないものに興味をもつ。興味は更に興味をよび、

自分の世界が広がっていく。

SPRING 28号企画PART1

OUT OF SCHOOL ぱーとI

高校は中学と違って規模が大きいため、いろんな層のたくさんの方達をもつことができますが、案外その友達が学校外の場ではどんな活動をしているのかあんまり知らないことが多いのではないのでしょうか。そこで大手前生100人以下のようなアンケートをとって、彼らのOUT OF SCHOOLについて調べてみました。

① 学校の帰りによく寄る所はありますか。(例書店、図書館等

② 帰宅後、すぐにすることはなんですか。

③ 人に「大手前はどんな学校ですか?」ときかれたらどう答えますか。

④ 突然10日間休校になったとしたら、その10日間をどのように過ごしますか。

⑤ よく見るTV番組は何ですか。番組名でかいて下さい。ただし、複数回答可。

対照…大手前1〜3年生より

運動系クラブ部員、文化系クラブ部員、クラブに入っていない人、任意100名抽出

時期…S 62 12月

①

- 1位 書店
 - 2位 どこへも寄らない
 - 3位 レンタルレコード、レンタルビデオショップ
- これもあまり目立った答えはなく、だいたいみんな同じような放課後を過ごしているんだなあという印象です。運動部の人はたいてい真っ直ぐ帰宅するみたいです。

②

- 1位 寝る。
 - 2位 夕食をとる。
 - 3位 TVを見る。
- ほとんどの人がこの3種のうちのどれかと答えているのは驚きました。帰宅後すぐ、という言葉のせい、自分の趣味などに時間を使うといった答えは殆どありませんでした。

③

- 1位 テストが多い学校
 - 2位 変わった学校
 - 3位 まじめで伝統のある学校
- 1位の答には結構頷く人も多いのではないのでしょうか。2位の答の「変わっている」理由というのが、「個性的な人が多い」、「学校自体がちょっと変わってる」の二手に分かれていました。また3位の答の「伝統がある」については、

「歴史があって良い」とする意見と「伝統に縛られている」とする、相反する意見がありました。その他、自由な学校、楽しい学校、しんどい学校等…。

④

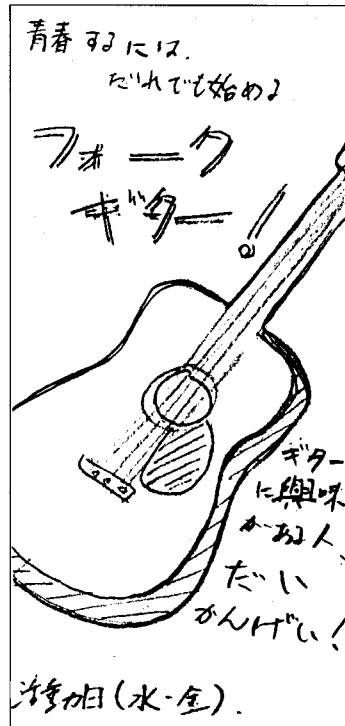
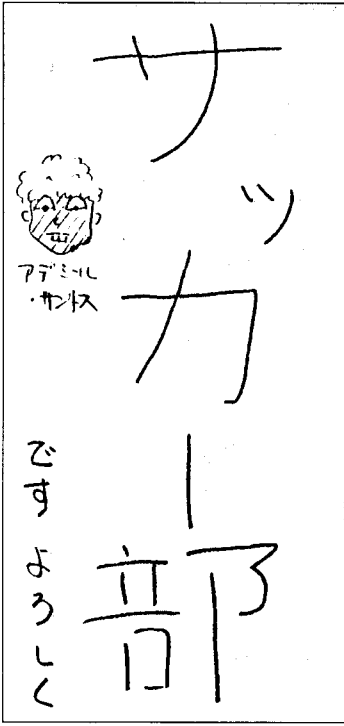
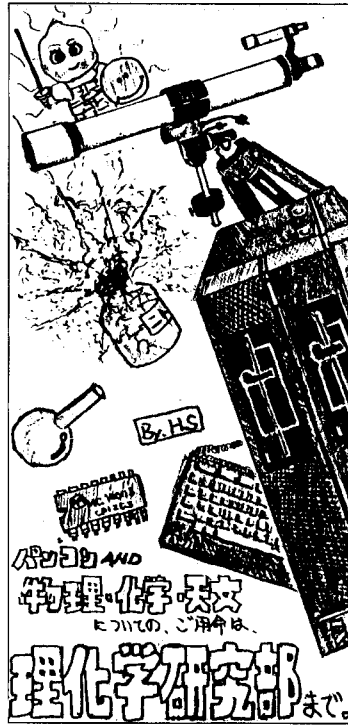
- 1位 寝たり、だらーっとして過ごす
 - 2位 遊びまくる
 - 3位 旅行に行く
- 「何をしようか迷って10日間過ごす」と答えた人が何人かいました。また10日間のうち、何日間は遊んでも何日間は勉強するという人も少なからずいて、さすが大手前生だと思えました。その他、趣味の時間（読書、音楽鑑賞、映画鑑賞、麻雀!）として活用する等…。

⑤

- 1位 男女七人秋物語
 - 2位 ドラゴンボール
 - 3位 ニュースステーション
- どの層からもまんべんなく同じような答がでていました。2位の「ドラゴンボール」には少し驚きましたが、ほかには「さんまのまんま」、「4時ですよーだ」やスポーツ番組などが多く、内容の軽いものが好まれているようです。

アンケートの全解答を検討した感想として、「大手前生はそのエ

ネルギの大部分を「学校」で使い果たしているのではないか」という推測を挙げます。なんだかみんな学校内の生活で疲れてしまっ
て、学校外ではあまり動けないような印象を受けました。
また「大手前生のOUT OF SCHOOLはこれだ。」とい
うスタイルは単一には現れてこないこともわかりました。現代のよ
うな社会ではそういうスタイルを求めるのは無理なことかもしれま
せん。特に大手前はアンケート解答にも多く見られたように、個性
的人間のつぼなのですから。

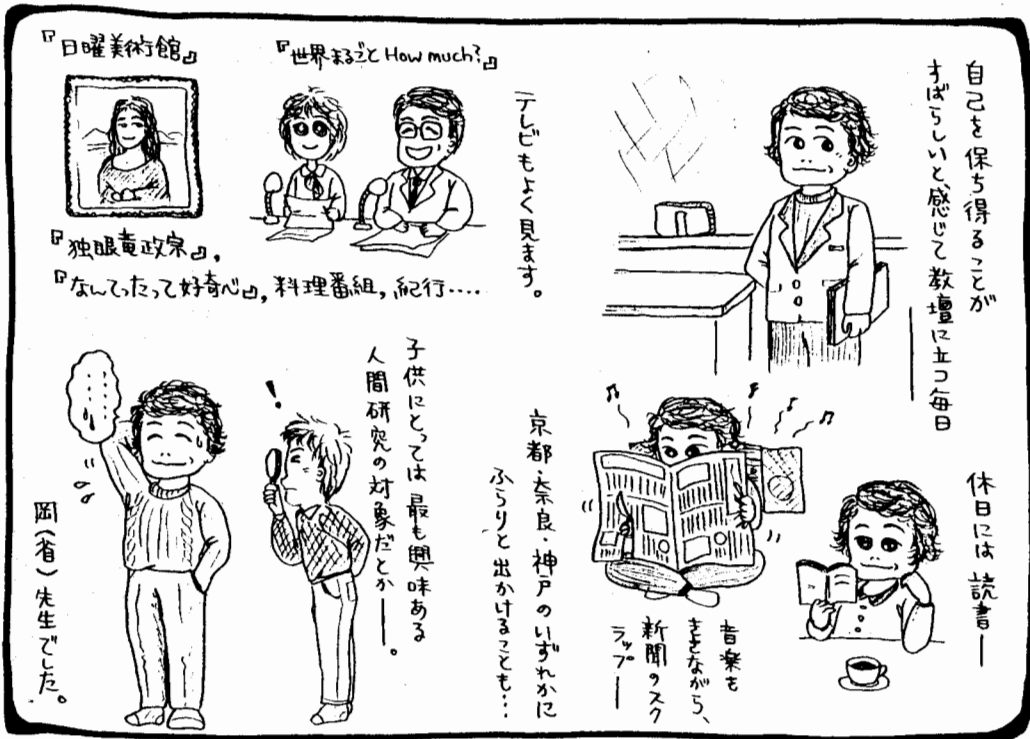
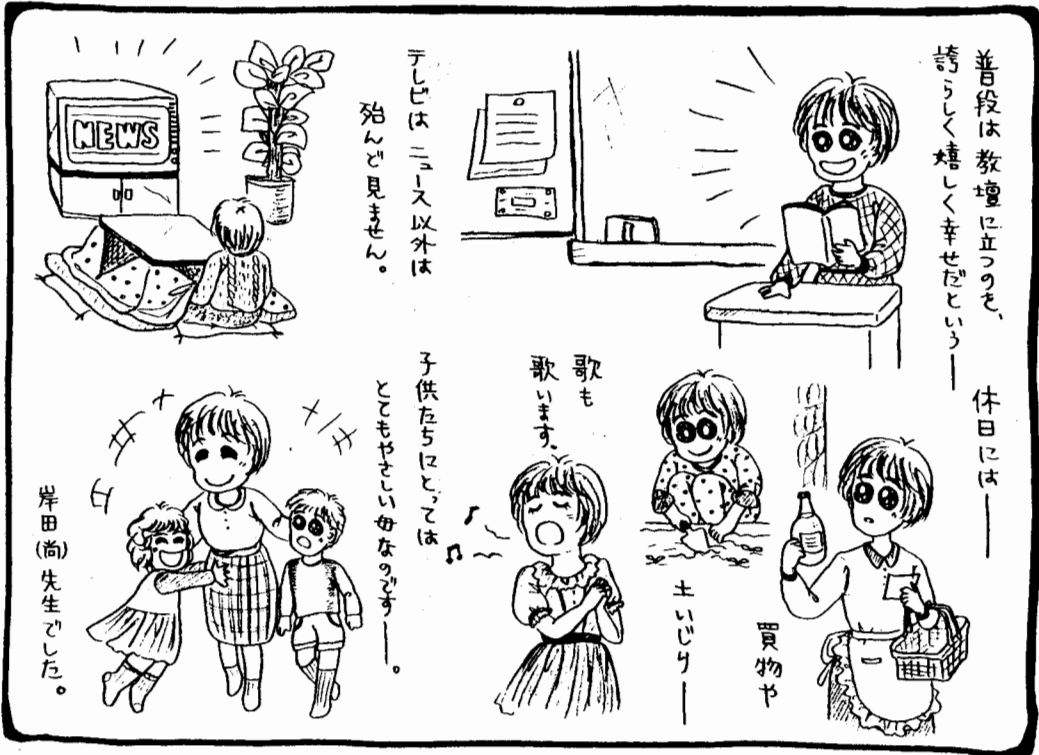


ぱーとⅡ 先生編

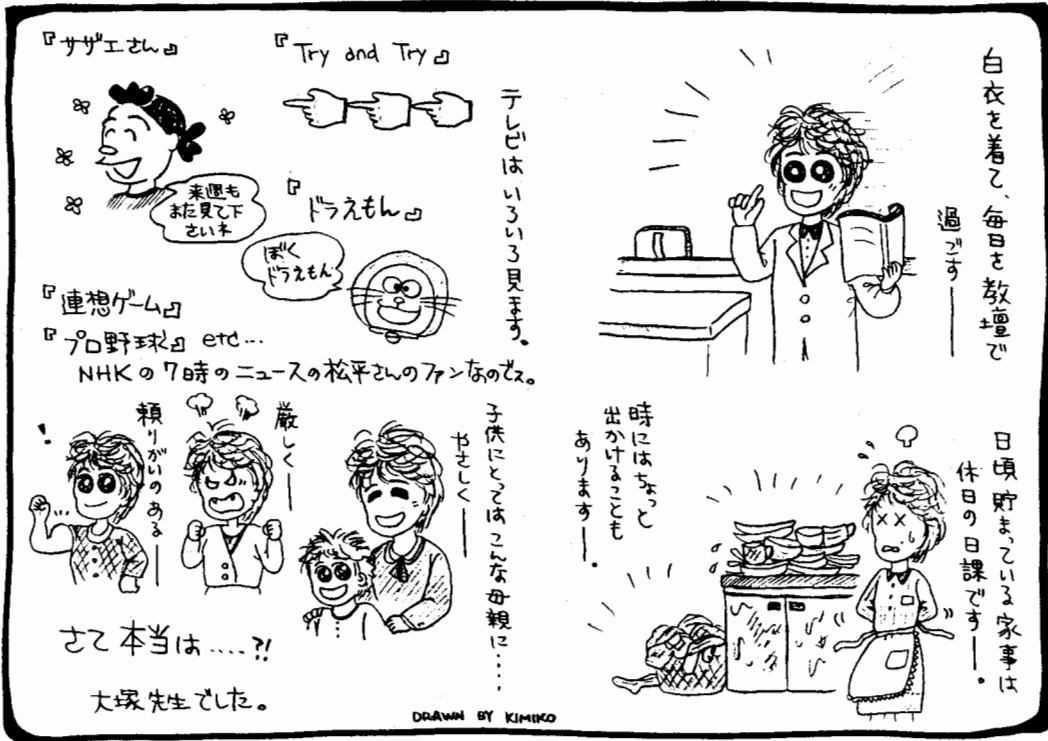
えーと、では次に、先生方にご協力していただいたアンケートで
す。授業で日頃、恐い先生、楽しい先生、気になる先生、色々な先
生方がいらっしゃいます。

そんな先生方が、家庭ではどんな風に過ごされているか。もちろ
ん、私達は知りません。そこで、この機会を利用して、大手前の先
生方のOUT OF SCHOOLを探ってみました。

それをマンガにしましたので、ご覧下さい。



今 あたりまえの生活をしてられるというこの幸せを忘れないで下さい。



みんなて
青春をエンジョイ
しようじゃあなか

※世話好きのマネージャーも求む。
かを解めている1年生、今からでもおそくない

硬式野球部
BASE BALL CLUB

Let's play
BASEBALL
With us!!

水泳部

五、九月に本校プールで泳ぎます。
楽しくて明るい人たちはばかりのクラブです。是非水泳部へ。

◎男女問いません!!
◎マネージャー大歓迎!!

校区内紹介

狭いようで広い校区。少しでも自分達の住んでいる街を深く知ろうとしていただけたら光栄です。

うおーきんぐ第三学区

第三学区は都心部ではありませんが、よく見てまわれば、まだまだ自然も残っています。ということ、「うおーきんぐ第三学区」と題して、秋の風に吹かれて公園などを歩いて見聞きしたことを紹介します。

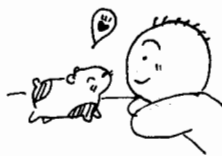
まずは淀川です。旭区の地下鉄谷町線太子橋今市駅上、その交差点の北に豊里大橋という大きな橋があります。川に沿ってこの付近から西へ下る途中に、池のようなものもいくつかあり、休日は釣りを楽しむ人たちが賑わいます。六月ごろと十月ごろが一番よく釣れるようです。(経験者談) エビやザリガニ、タナゴなどもとれます。このあたりにはグラウンドがいくつああって、野球やサッカー、フットボールなどをしてる若者達の姿が目に入ります。土手にのぼれば夏でもさわやかな風が吹いていて、自転車や自分の足で走ってみるのもいいものです。そばに城北公園があって、ここも休日、とくに春には、たいそうな賑わいになります。

もう少し西へ行くと、川岸一面に草がぼうぼうと生えています。ここは野鳥のすみかになっていて、多くの小鳥たちのさえずりが聞こえます。そう、ここは大阪市の大草原なのです。付近では四季を

通じてウィンド・サーフィンを楽しむ元気な若者の姿も見られます。こちらで川は二本に分かれます。南へ流れる旧淀川の左岸を歩いてみると、川に沿って多くの木が植えられています。ここでも休日になると多くの太公望が川面に糸を垂れています。途中にある池では子供のころ、泥にまみれるのも省みず、ザリガニとりをしたものです。さらに歩くと、もう大阪城や市内のビルが見えてきます。水上バスが通ります。このあたりの夜景は、なかなか絵になります。このあたりまでは、絶好の散歩道です。春の風に吹かれて、あるいは小春日和の中を歩いてみたり、または自転車を走らせてぶらぶらするのでもいいですよ。

ところで、所変わってここは地下鉄大阪港駅。ここから北西へ、トコトコ(別に音は何でもいいのですが)歩いて行きますと、潮の香りとともに、船の汽笛が聞こえてきます。大阪湾の水ですから、それほどいい香りはしないのですが、ここ、天保山公園から通り過ぎる船を眺めていると、いつもとは違った自分の世界に入ったかのように感じます。このあたりと、もう少し西へ行った大阪港中央突堤のあたりでは、たいへんきれいな夕陽が見られます。心の傷をいやすにはもってこいです。とくに冬はきれいです。帰りに自動販売機で暖かいコーヒーでも買って、冷めた心を暖めてやりましょう。

あちこちへ行きましたが、新しい発見もいくつかありました。



新地川の川沿い

1. 交通費と地域ごとに調べる。
(11月のおりに...)
2. 交通費は3月の定期の値段で。

交通費/町名
所要時間/交通手段

1360円/海老江
30分/阪神地下鉄

1106円/大園
30分/地下鉄

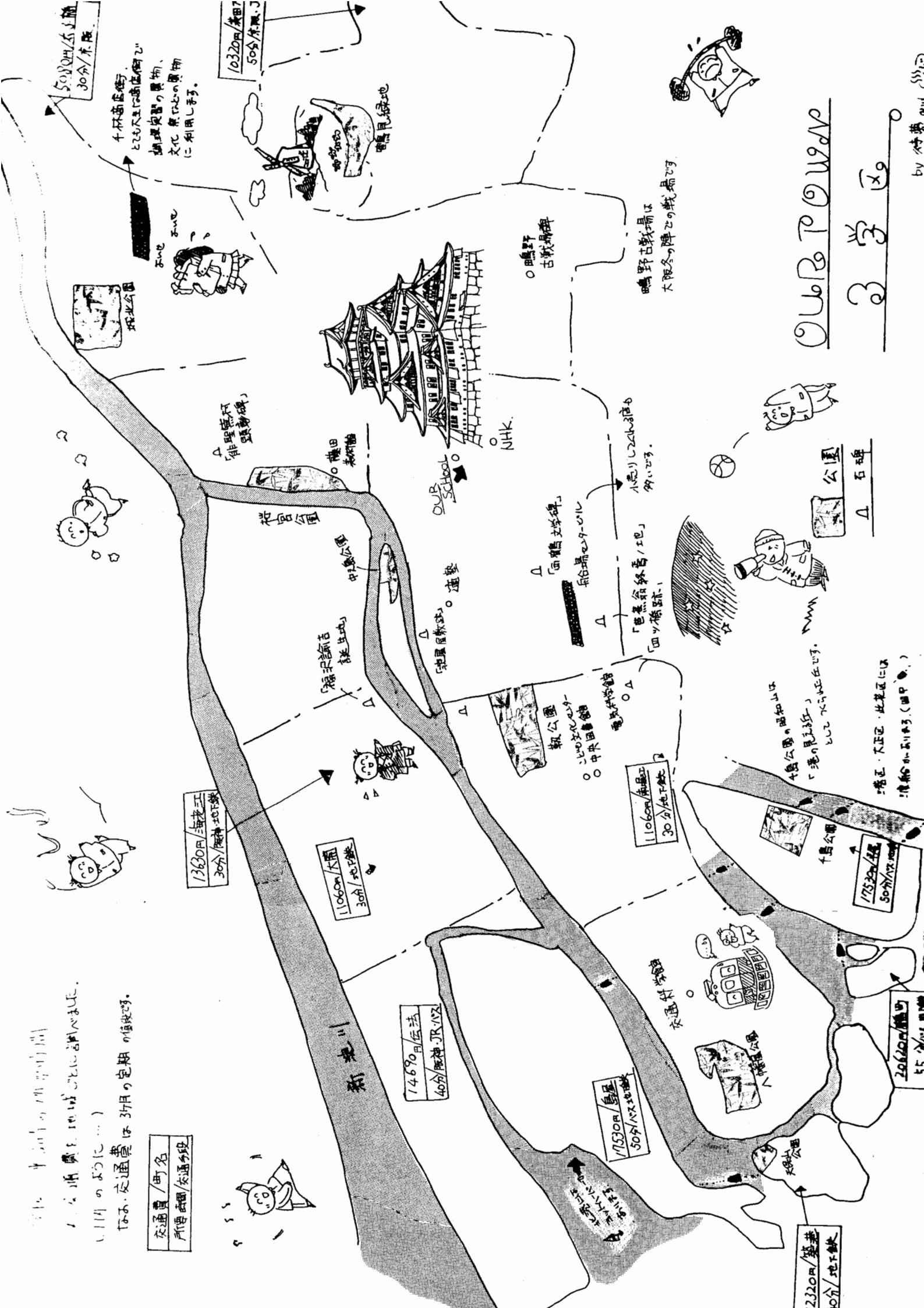
1467円/伝法
40分/阪神JRバス

1753円/島屋
50分/バス地下鉄

1106円/海老江
30分/地下鉄

1753円/海老江
50分/バス地下鉄

2062円/橋本
55分/バス地下鉄



OUR P.O.W.P
3 学区

by 特選 and others

みゆうじあむずがいど

お待たせいたしました。これからは、我れ等が第三学区の中にある博物館・文化施設、果ては見学可能とみられる産業関係の施設まで、ありとあらゆる場所を、できる限り多く、その上私的コメントも混じえてガイド調にしたものです。みなさんも、ひまと金さえあれば一度行ってみてください。ただし、ここでの料金は学生料金ですので、身分証明書はお忘れなく。

○大阪市立 東洋陶磁美術館

(あし) 地下鉄・京阪―淀屋橋または北浜 市バス―北浜二

(じかん) 九時三〇分―一七時 (入場は一六時三〇分まで)

(おやすみ) 月曜・祝日の翌日(日曜と重なる場合は除く)・年

末年始

(おかね) 二五〇円(特別時は別料金 六〇〇円!)

(私的なこめんと) 赤レンガの四角い建て物で、緑と水に囲まれた中之島公園にある。ところが中は、お年寄りの団体さんでごった返す、その熱気でダウン寸前の暑さ!特に休日にくらうということが多いので、できるだけ平日に行きましよう。

○宝くじドリーム館

(あし) 地下鉄・市バス・京阪―淀屋橋

(じかん) 一〇時―一八時

(おやすみ) 日曜・祝日(日曜と重なる場合は翌日)・年末年始

(おかね) 無料

(私的なこめんと) 銀行のオープンスペースを活用したところ。宝くじのことがなんでもわかる。ただし、宝くじの一等の当て方は、と言われると少し困るのですが…。

○大阪市立 電気科学館

(あし) 地下鉄・市バス―四ツ橋

(じかん) 九時三〇分―一六時四五分(入場は一五時四五分

で)

(おやすみ) 月曜日

(おかね) 四〇〇円(プラネタリウム+電気館)

(私的なこめんと) このプラネタリウムは東洋でも一番古いものとして有名。ほかにも電気館では、電気のが何でもわかる。透明人間を見ることもできます。しかし中では順番を守って楽しましよう。一人占めは行儀悪いですから。

○交通科学館

(あし) 地下鉄・JR―弁天町 市バス―弁天町バスターミナル

(じかん) 九時三〇分―一七時(入場は一六時三〇分まで)

(おやすみ) 月曜日(祝日は除く)・年末年始

(おかね) 三〇〇円程度

(私的なこめんと) ここはみなさんも、小学校の遠足で行かれたのでは。さすが旧国鉄が建てただけあって、鉄道が中心。鉄道ファンなら、何度行ってもあきない所。それに、ここにある新幹線車両では、昼寝ができるのだ。ただし飲食はできません。

○藤田美術館

(あし) JR-片町 市バス-片町・東野田

(じかん) 一〇時〜一六時(入場は一五時三〇分まで)

(おやすみ) 不定期開館のため不明

(おかね) 一五〇円(特別時は別料金)

(私的なこめんと) ここは、太閤園の中にあり、周りの景色はきれいで、ものすごく重苦しい感じで、慣れない人には少ししんどいぞ。

○大阪市立 博物館

(あし) 地下鉄-森ノ宮 JR-大阪城公園・森ノ宮

(じかん) 九時一五分〜一六時四十五分(入場は一六時一五分まで)


(おやすみ) 毎月第二・四日曜日

(おかね) 一五〇円(特別時は別料金)

(私的なこめんと) 個人的には、あのEXPO'70のタイムカプセルのコーナーが好きですが…。

さて、このようにいろいろな施設を紹介してまいりましたが、このほか、紹介しきれなかった所がたくさんあります。例えば大阪証券取引所・パナソニックスクエア・大阪城天守閣・NHK・こども文化センター、更に血液センター(ここに行つたついでに献血されたりして)まで、いろいろな種のものがあります。しかし、やはり一つのものに、一日じっくりかけて見に行けばよいと思います。これらが参考になれば幸いです。

KEION CLUB
ROCK'N ROLL REVOLUTION



バンドを組んでCOME ON!
練習(Fri. Sat.)の見学は
気軽にどうぞ!

二度とない青春時代
バレーボールプレイヤー
としてその日々を
送ってみないか



マネージャーも大歓迎!

新聞部
だよん! だよん!
welcome!

WANTED!
老若男女、誰でも来い!
(体当り来て下さい)

- ・特に若手歓迎!!
- ・活動日、別に決まってない!
- ・楽しいクラブだよーん!

特典: やさしい先輩のアドバイス付き

だよん

新聞部です

第三学区歴史めぐり

大阪の歴史はとても奥深いものがあり、少々の紹介ぐらいでは言い尽くせないのですが、これを糸口に少しでも興味を持って「もっと知りたい。」と思ってもらえるとうれしいです。

文学・思想編

注・大坂の坂はまちがいではありません。

〈松尾芭蕉〉

彼は上方へ旅をし、その際大坂に寄り、この地で病死したのです。「芭蕉翁終焉ノ地」碑が東区南久太郎町四丁目の御堂筋東側の植込みの内にあります。彼が最期の句「旅に病んで夢は枯野をかけめぐる」を詠んだイメージの大坂とはほど遠い現在の大阪の街の中で碑は何か昔を思いおこさせるものがあります。

〈与謝蕪村〉

彼は大坂で生まれていますが、若い時に両親と家産を失い江戸に出て行きます。最終的には一度も大坂に帰らず京都で病死しています。彼が故郷を詠んだ句に「春風馬堤曲」というのがあり、淀川中学校の碑に刻まれています。また「河内路や東風吹き送る巫女が袖」「菜の花や和泉河内へ小商」「菜の花や月は東に日は西に」などの故郷を思う句を詠んでいます。いづれも写生したような絵の構図になっているのが特徴です。しかしこのように彼が帰りがたっていた毛馬村は、明治の改修で新淀川の底に沈んでしまっているのです。

〈井原西鶴〉

彼は大坂生まれの大坂育ち、そして没したのも大坂という生粋の大坂人です。東区内本町橋詰町に彼の文学碑があります。それには「…金銀を溜べし、是、二親の外の命なり」という「日本永代蔵」

の始めの言葉があります。またこの本には「大福新長者教」という副題があり、当時の人々は金持ちになる法を読むつもりで買ったとか。しかし西鶴は「金を持っていてる者の世の中だ。」とのし上ってゆく商人達の裏にある人間の弱さと悲しみというものを根底において書いたのです。そんな深いものを持ちながらも現代人らしい彼を調べるのもお金持ちになる近道かも…。

〈上田秋成〉

彼は「雨月物語」で有名な人物です。この話は日本の怪異小説であり、描写がリアルなことだけでなく、人間性というものを深く考えさせる作品です。これを書き終えた後、彼は火事に遭い破産したのですが、医学を学び現在の東区京橋四丁目の辺りで医者として開業しました。その前には現在の淀川区に住んでおり、同区の香具波志神社に上田秋成の碑が立っています。彼の代表作「雨月物語」はなかなか素晴らしいものです。一度読んでみてはいかがでしょうか。

〈頼山陽〉

彼を知らない人は多いと思います。彼は江戸時代の儒学者で「日本外史」の著者として知られている人物です。緒方洪庵の適塾で学んだ人です。現在の西区江戸堀一丁目「頼山陽生誕地」の碑が立っています。

〈福沢諭吉〉

一万円札でおなじみの人物です。彼も大坂に生まれ、現在の福島区堂島浜通三丁目の阪大病院南側に「福沢諭吉誕生地」の碑があります。頼山陽同様に適塾で学んだ一人でした。

〈適塾について〉

蘭学者緒方洪庵が開いた蘭学塾で、洪庵が江戸へ去るまでの十九年間に、福沢諭吉をはじめとする英才を世に多く出した所です。

この適塾を見学に行った人たちに感想等を聞いてみました——「辞書が一冊だけで、厳しい生活だったらしい。」「とても自分にはできそうにない生活みたいだ。」という意見でした。

文学史を嫌いだという人も、まず自分の身近な所にいろいろな偉人が住んでいたということを知ること。「好きになる」ことに一歩近づけるのでは……。〈適塾—現在の東区北浜三丁目〉

雑学編

〈天保山の黒船騒ぎ〉

天保山とは一八三一年（天保二年）に安治川の河口にたまった砂を、さらって盛りあげた丘です。現在は港区築港三丁目の天保山公園になっており、その丘の上には天保山碑が立っています。

黒船騒ぎというのは一八五四年九月十八日、天保山沖に一隻のロシアの黒船が現れたことに始まったのです。町人達は驚きあわてながらも、我も我もと見物に行く人のあとが絶えなかつたので商売はさっぱりだったとか。その中を適塾の塾生が通訳し、下田へ回航するように交渉し、黒船が現れて約一ヶ月後天保山を去った。こうして騒ぎはおさまった。大坂人が商売をほって見物にいくことから騒ぎの大きさがわかると思う。

〈放出の地名の由来〉

放出は城東区、鶴見区にある地名で、普通に読むでは「はなてん」とは読めないのですが、これには次のような伝説があるのです。

昔々スサノオの命（ミコト）が使ったといわれる草薙剣という神剣が、尾張の熱田神宮にありました。ある時新羅の僧がこれを盗み、持ち去る途中に大嵐に出遭い天罰だと思い、ちようどこの放出の辺りで放り出したのです。この放り出すが放出（はなち）と言われ、いつのまにか放出（はなち）と呼ばれるようになったのです。

〈大商人淀屋〉

淀屋は江戸時代の商人で先祖は材木商でしたが、二代目の个庵（古安）が米相場で当て、これをきつかけとして富を蓄えました。

个庵は家の前に個人で橋をかけた（淀屋橋）、家をいくつも建てたり、そして、夏座敷には天井にガラスを張りめぐらせ山から清水を引いてきて金魚を放つなどできるかぎりの贅沢をしました。その結果贅が町人の分限を超えるという理由で財産を幕府に没収されたということ。この淀屋敷跡の碑は東区大川町にあります。

〈四ツ橋跡〉

「なにわ八百八橋」の中でもユニークな橋の代表で、西横堀川と長堀川の交差した所にあつたものです。ちょうど横断歩道のように橋がかかっていたのです。夏には夕涼み客で賑わつたという浪速名物の一つです。この四ツ橋の碑は西区の長堀グリーンプラザの東端の高速道路下にあります。

まだまだ楽しい昔話も多いのですが、それを調べることもまた楽しいということで、読んでいる人達にも楽しみをお分けしたいと思っています。

日誌コーナー

学校の外で出会った事件編

「M君の日記」より

場所は京阪の裏の道であった。向こうから、家路に急いでいるのか、大きなかばんを持ってコートを着た、顔は暗くてよくわからないが女の人が走って来る。私は、ふと映画のワンシーンを思い浮かべた。そして手を上げ、ハイイと言って彼女の方へ走って行った。彼女は走りながらキョロキョロと周りを見たが彼女以外は誰もいなかった。のであせっているようだった。——彼女とすれちがう時止まって彼女を抱きしめる。そして彼女は涙を流す。それを私がそっとぬぐってやる。——よくある映画のシーンであるが、実際は（今から思うと何を思ったのか）手をあげて、ハイイと言い続けて通り過ぎてしまった。急に止まるとなんだかカッコ悪いので、ずっと手をあげて走って行った、後から友達に聞くと、彼女は通り過ぎてから腹をかかえて笑いながら走っていったそうです。私はさすがに気持ちでいっぱいだった。

「日直日誌」より

4、5日前の話である。地下鉄で登校中、T駅で少し変わった女の人が乗ってきた。その人は超満員というのにもかかわらず大声で「♪とびだせサンバ、やりだせサンバ 恋はいつでもカタツムリ

ね〜♪（不可解な歌詩）」と歌ったのだ。しかも「フリ」までつけて。私は笑いをこらえきれず笑ってしまった。するとその人は私の顔をジッと見つめて、「♪とびだせサンバ やりだせサンバ」とサービスのつもりか、また歌ったのだ。私はその日一日中体調が悪かった。

「ある落書き」より

M駅八時発の電車にH先生がいつも乗っておられる。時々乗り遅れそうになって駅へと走っておられるところを見かける。この前は車にひかれそうになっておられた。が、その後は涼しげに何もなかったかのように歩き去っていかれた。

「偶然に見かけた光景」より

阪神梅田駅でのこと。本校社研はテストの採点が遅いと言われてる。が、K先生は、ベンチに座るとおもむろに答案用紙をとり出し、ピンパン快刀を、いや赤ペンをふるわれたのであった。

「夏の体験」より

この夏に、京都の木津川にキャンプに行つてあと何分かのところで死ぬところ、という体験をした。どういふことかというところ、昼頃河原にテントをたてた時は川からテントまで30m〜40mはあった。夕方、雨が降り上流にダムがあるので、水かさが増すのはわかってた。11時頃に起きてみるとわずかに増しただけで安心して寝た。「起きろ！」誰かの声があった。外に出るとテントが半分水につかっ

ようとしたが、テントがもったいないので、テントをもって逃げた。死ぬかと思った。午前1時のことだった。

「あるクラスの日誌」より

先生に質問ですが、先生が駅前の本屋で「少年ジャンプ」を立ち読みなさっている、というのは本当ですか。

(先生のお答え) 本当です。昔からこのくせは直りません。買って読んでいたこともありますが、今は買わずに立ち読みしています。



ひょうげん編

○そろそろムシ暑くなってきた。新館に扇風機を…。今さらブレハブと同じようにクーラーつける！なんて言わないから…。

○おら黒板消すのがいやだ。学生服が汚れんだもん。今日はラジオ体操の再テストがあるが、体操服を忘れたのでさぼるのだ。

○次の天皇に代わったら誕生日は冬休みだから休日が減ってしまふ。天皇誕生日はずっと残しておけばいいのに。そしたら今から三六五代目の人になったら一年中休日になるかもしれない。

○(10月17日 台風) 今日はずごく腹が立った。6時ちようどに起きてニュース見てて、教育委員会の「き」の字も言わなかったのに私が出たから言うなんて！言うんだったらもつと早く言ってよ！

(あるクラス日誌より)

○君たちの人生に未来はあるのか？自分達で自分達の未来を切り拓けない、力のある者の命令はだまって聞く…。

(ある教師の後書きより)

○うちのクラスはものすごくおとなしい(といわれる)クラスだ。しかしながらどんなにおとなしくても、変わった人は必ずクラスに数名はいるもので、当然うちのクラスも例外ではない。何故かわからぬが「師」と呼ばれている人もいれば、誰にも相手にされない人もおり、又、競馬が異常に好きな人もいれば、しょうもないギャグを言う人もいる。又、先生方のものまねのうまい人もいれば…、と挙げていけばキリがない。これほど个性的な人を寄せ集めたクラスはない！と断言とまではできないが宣言することはできる。とにかくうちのクラスはおとなしくもあり、かつ、おもしろいのだ。

(我がクラスより)

「ソ・ソ・ソクラテスカ、プラトンかー、みんな悩んで大きくなった！」

授業風景編

×月○月

保健 先生が子供の教育について話しておられた。その話は、

「子供というのは、赤ん坊の時は赤の他人のように扱い、中学生になるとモードになれる。高校生になると王子、王女のように甘やかすものだ。」と一年前から掃除をしていない僕の耳には聞こえる。

社会 今日先生がのつておられるようだ。いつもは真面目な先生が教壇の上で「ズツチャカズツチャカズツチャカズツ

チャ、さむーてたまらん！」とひとり言を言っておられた。僕は盆踊りも踊って欲しいなあ、と甘えるような目つきで先生を見つめていた。

英語 授業の初めに小テストをした。先生がうっかり答えを言っ

てしまわれた。その時の先生の顔が忘れられない。

昼休み編

「ある日の昼休み」より

あゝあ、やっと4時限目の授業が終わった。つかれた。さあ、そろそろ弁当を食べようかなと思うと、教卓を見たら、まだ、先生が立っておられた。弁当を食べはじめたら後ろから声が出た。「おい、お茶ー！」あっそうだった。今日は僕は日直だったのだ。お茶をとってきて、教室に戻った僕は「なんでこんな重労働を弱い僕にやらすんだ！」と思いつつ、弁当を食べるのであった。

鉄道や旅行のことなら「鉄道研究同好会」にお気軽におたずね下さい。その時からあなたも会員です

生物部

マウスブリーダーが親子でお侍しております



↑
口の中で卵を産む。
これが最後のお願いだ
生物部に入部してくれ
OB先輩がごしゃばる
こともないし、
とにかく入部して損は
しないからいい気を見殺
しにするが、君たちの双肩
にかかっているんだぞ。

chorus[kw:ras]
大勢の人と「音を楽しむ」
事を指す



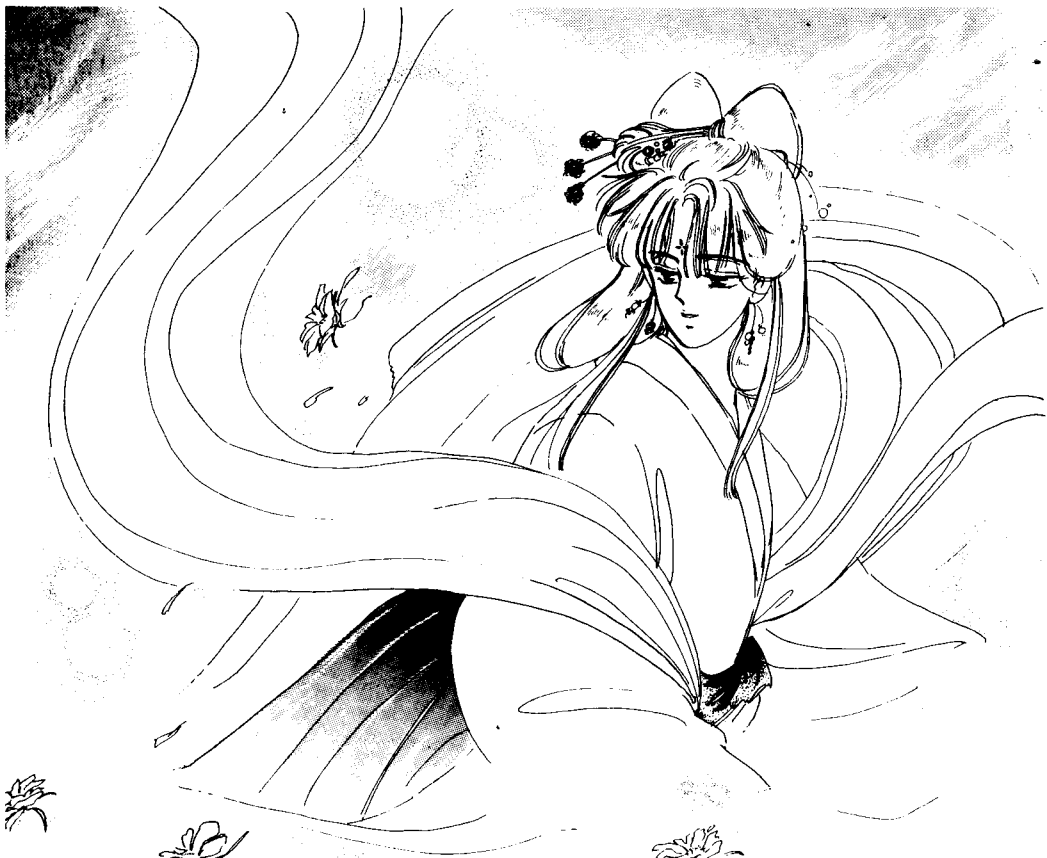
だから、
Let's sing
in Chorus!

音楽部

一年生の心理編

- 入学式、はやく学校になじみたい!
- 宿題テスト、初めてのテストなので少しとまどってしまおう。
- 学校に来るだけで疲れてしまおう。
- 予習がたまってくる。
- このごろようやく学校になれてくる。
- テスト前、ストレスがたまってしまう。
- バレーボール大会、コーラス大会、おおはりきり。
- 行事が多くて疲れがたまる。
- 文化祭が終わり、ひとまず「ホッ」
- もうすぐテスト
- 期末テスト
- さあ!楽しいはずの夏休み





動物は恋愛するでしょうか。

生物学者の観察などによると、その答は「否」であるようです。恋愛というこの奇妙な感情は、人間固有のものらしいのです。

多くの先人達が、恋愛を学問や芸術の主題とし、その理解を目指しました。そして私達一人一人も、これには無関心ではられません。

しかし、「恋愛とは何か」というとりとめもない問題について、真剣に考える機会をもった人は少ないのではないのでしょうか。

先日、編集の参考にと開いた座談会でのこと。理想はどのような人か？という「やさしい人」。なぜ異性に惹かれるのだろうか？という「人間も動物やから……」。説得力ある回答は得られませんでした。

恋愛とは何か——結局、これは永遠に答の出ない問と言えそうです。そこで、無理にお願いして、各々の専門分野からみた「恋愛」を先生に語っていただきました。この機会に、自分なりのちょっとした「考察」を試してみたいものです。

恋愛……思いつくままに

社会科 岸田典久

前略

突然のお手紙でびっくりするやら困りはてるやらでした。いつの間にか高校生になったのですね。この間、小学校を卒業したばかりだと思っていましたのに。

さて、お手紙の方は学校の宿題で「恋愛編」のレポートを提出しなければならぬので、何かアドバイスしてほしいとの文面でしたが、どうも恋愛らしきものは縁が遠いので何をどうまとめればいいのか、返事に困ってしまいました。片想いで身も世も無いほど人を悲しんだことが何度かありました。中学生の頃や高校に入ってから。そんな程度の恋愛しか経験していなくてもよいのでしたら何か思いつくままに書いてみようかと筆をとりました。話がぎこちなくなるのを承知しておいてくださいよ。

手近なところで恋愛について述べた名言があります。「愛といわれる状態は、相手の満足や安全が自分の満足や安全と同じほど重要になった時に成り立つものである」(H・S・サリバン)とか、「恋に満ち足りずにいる時には恋は消えるものではないが、あき足りた時には消えてしまう」(ランクロ)とか、「恋——それがどんなものであるかを賢い人は口にはしない」(ロビンソン)、「深く愛することのできる者のみが、また大きな苦悩を味わうことができるのだ」(トルストイ)、「一切のことを理解して喜ぶのが友人同士であるが、一切のことを忘れて陶醉するのが恋人同士である」(ボ

ナール)、「恋愛の中心は、相手を美化する結晶作用にある」(スタンダール)など。どの名言もなるほどと感心するものばかりで、時間に余裕があればその一つ一つを深く味わってみたいのが……。恋愛は個人個人の体験からうまれるものだけに、これらの名言が誰にでも何時でも何処でも当てはまるものではないでしょうから、恋愛の本質だとか、種類や形態、程度、進歩度、結末などと大きく構えると、恋愛の経験が乏しいだけに、ますますうまくまとめられなくなります。そこで、一般論としてなら私はこう思うというぐらゐの気楽な気持ちでまとめるとすれば次のようになります。

一つは、青年期にはいろいろな興味・関心があったり、好きなことに熱中して時間をその方に回すにしても、一度ならず恋愛の経験はしておくものだということです。(恋愛のことも知らずにええ格好だけはシッカリ言うんですけど……) 誰が言ったのか覚えていませんが、世の中は男性ばかりではなく女性が地球上の半分を占めている訳でしょう。そんな状況の中で恋愛を経験して、男性は男性、女性は女性というお互いの性的な位置づけというか役割というか認識などをもつことが大切なことだと思えます。単に肉体的な違いにとどまらないで、女性に特有の優しさや男性らしい逞しさからくる言葉づかいや行動のしかた、考え方の違いがあって、先ずそれをお互いに知り合わなければならぬでしょうから。それぞれの理解というか、自分も主張するし、相手の気持ちや身体上のことなどについても気づかせねばならないということ、恋愛は青年期にとってより豊かな人間形成を培う意味でも、大切な経験となるはずです。

二つには、青年期の恋愛であっても成人同士の恋愛であっても、恋愛そのものは、とても分かりにくい言い方になります。やはり人格的な結びつきを欠いてはならないということです。誰だって人間として、どこまでも相手は相手の、自分は自分のそれぞれ貴重な人格をもっていてそれぞれ神聖なものであり、誰からも傷つけられたいすることのない不可侵のものです。恋愛という二人だけの特別の意志もしくは感情の交流の場であっても、友情と違って恋愛は性と深く関わっていますから、いざれ結婚するということが約束されていても、恋愛に人格的な結びつきがなければ二人の間柄は足もとでぐらつきかねないでしょうね。元々、恋愛は二人だけの閉ざされた関係であるけれども、たどりつくところは人間の美しい営みの表れであるのだから、人間の尊厳というか生命の崇高さというかそのような言葉が出て出るようなものでなければ「恋愛」とは言えないように思われます。愛もいたわりも思いやりも実は皆同じ根っこから出てくるものと考えています。

と、まあ以上のように独断と偏見でまとめておきました。宿題の「恋愛論」の何ほどかに役立ててください。健闘を祈ります。

草々

古典と恋と私と

国語科 河瀬 もも子

ためしにこんなことをしてみよう。夜、雨戸を閉める、カーテンを引く、そして灯りを消す、するとそこに闇が出現するだろう。その中で一本のローソクに火を点す。雑多なものが浮かび上がってきて、これを古代の闇、古代の光というには無理があるけれども、それらしき雰囲気は味わえる。そして今、あなたに想う人がいるとする。炎のゆらめきの中にあの火影に見た恋人の面影が浮かんではいないだろうか。

燈ともしびの影にかがよふうつせみの妹がゑまひし面影に見ゆ

(萬葉集卷十一)

現代人は「闇」を失い、もしあるとしても衰弱し、墮落しきつた闇しか持たないが、古代の人々を包んでいた闇は濃密で、多くの意味に充ちていた。ある時は魘魅おみ魘おみが跋扈し、ある時は悪霊あくまがうごめき、ある時はまた人の想いも闇に乗って飛翔する。そして闇がそれだけの意味を持つとすれば、その対極にある「光」もまた濃密で雄弁なのであった。一首の意は単純で、逢瀬あはせの折、火影に浮かんだ恋人の笑顔を面影に見るというものだが、歌の語るところはそう単純ではない。夜、男は一人居ひとりゐの燈火に恋人を想うだろう。ほの暗い部屋の乏しい光は、恋人のもとにあったと同じ光である。とすれば、光の中に男の情念は凝集して、恋人の姿を髣髴ほうふつさせるだろう。その時、恋人の笑顔は確かにそこにある。この「ある」という確しさは、「思い出す」といったような貧しい精神の働きではない。現前

する笑顔は男の想いの深さが呼び寄せたものなのだ。そして外ならぬその男に「笑」を返した女の想いもそこにある。古代の人々が「影」や「夢」に託した願い、即ち面影に見たり、夢に現われたりするの、相手が自分を想っているからだという解釈を成り立たせる情感は、この時生き生きと息づいているのである。

時代は下って平安時代、言葉や精神が洗練されていくとともに、恋もまた成熟を遂げて行く。今一つの歌集を繙けば、そこには成熟の闕に達した「心」が見られよう。もはや現代人の持ちうる情念の全ては語り尽くされていて、何も付け加えるものはない。むしろ比べて見れば、現代の恋の様相の方が貧弱である。

和泉式部といえは、「恋に生きた女」、「男から男へと渡り歩いた女」というイメージが強いが、彼女の生き様を外から見ると限りそれた肯うとしても、その内面はおそろしく自省的で、諦観に充ちている。弾正宮との恋で、親からは勘当、世間からは非難され、やがてその死に遭遇、一年を経ずしてその弟帥宮の愛人となる。——それは当時の人々の耳目を驚かすに十分な事件であった。同車した牛車の後に真赤な物忌の色紙を垂らして祭り見物に出かけたというのだから、今で言えは真赤なスポーツカーをこれ見よがしに乗り回したとでも言えようか——、やがてまた時を経ずしてその死に遭い、しかもその後も男達との噂さが絶えなかったとあれば、悪しきイメージは固定したことであろう。しかし、同時代を生きた紫式部が「和泉はけしからぬかたこそあれ」と断わりつつも評価しているように、その歌の才能は誰しも認めるところであり、私の心に触れるのは、その独白めいた歌に漂う孤独感、それどころか覚めている心のあり様である。

物思へば沢の螢もわが身よりあくがれ出づる魂かとぞ見る
人はゆき霧はまがきに立ちどまりさも中空に眺めつるかな
年を経て物思ふことはならひにき花に別れぬ春しなければ
冥きより冥き道にぞ入りぬべきはるかに照らせ山の端の月

さまざま自分の魂を見、人は行ってしまふもの、花に別れぬ春はないのだと式部は思いを定めている。そしておのが生涯を無明の旅と観じる時、歌が直截におのれを語れば語る程、底に冷んやりと静まりかえったものが見えてくる。もはや生身の自分とは別に、極限のものを生きた人間が冷やかさとでも言えようか。現実の式部がどう生きようとかかわりなく、その冷やかさは式部その人であるかのように思われる。無論、この種の歌をもって式部の全てを語り尽くせるとは思わない、が、これは私の和泉式部である。

古典の中の恋の紹介をという要望であったが、もとより「古典の恋」があらうはずはなく、それはいつも「私の」という冠詞を必要とする。人それぞれが「私」の想いをこめて古典に接する時、ひとつひとつの恋は時空を越えて今に甦り、燈火のゆらぎもまた輝きをとり戻すだろう。

「恋は……」

いかにも恋とはわたしひとりだけのもの。

そこに実在のあなたがいる必要もない。

二人で同じ夢を見ることが出来ないように、わたしの内部に果てもなく深まる〈闇の物語〉は他のだれとも分かちあうことは出来なくて。

たったひとりの一回限りの〈物語〉であるから、わたしは孤独にさまよい、寄る辺を求めて語り合うのかも知れない。



わたしの中で輝く恋のかけらのゆえに、幾重もの漆黒の闇も深い意味をもちはじめ。
それは初源の悲しい闇ではない。何もかも呑み尽し、終りにしてしまおう寒い闇ではない。
人を包んで離さぬ闇ではない。語りはじめたばかりの永遠に生れ続けるわたしの内なる〈物語〉なのである。

N・M

夢中になれるものを
求めている人へ

"Let's play together!"



<演劇部>

落研

おもしろき
事もなご世を
おもしりく
を
みなすもの
は
笑
い
なりけり

高杉晋作少改作

SOFT
TENNIS
CLUB

素敵な
お姉sanと
優しいお兄san
が君を待て
いる---

O-H-S SYMPHONIC BAND CLUB

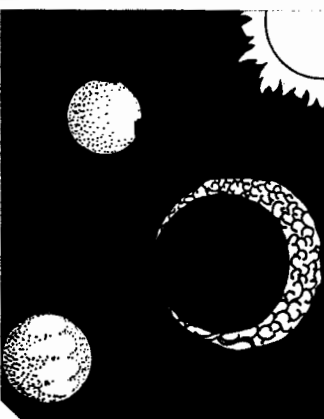
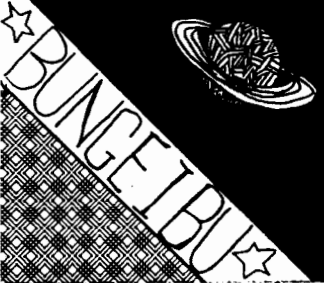
Brassで
「青春」
しませんか



活動日
月~土 15:00
*行事前には日曜日も
やる時があります
*男子・経験不問

吹奏楽部

この広告を見ちゃったあなたノネウあなたです。
ここでこれを見たのが運のツキ!!
あなたはだんだんバレーがやりたくなくなってくる。
だんだん、だんだんやりたくなくなってくる……
ほうら、入部したくなってきたでしょ?!

BUNGEJIBUN

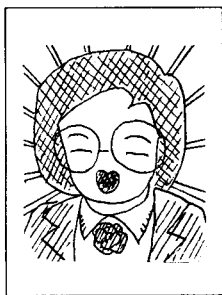
「先生、赤ちゃんいつ生まれるの?」「なんで知ってるの?」「見たらわかりますよ」

先生紹介

アンケート内容：①担当教科②生年月日③前任校④今いちばん興味のあること⑤高校時代の所属クラブ⑥教育方針⑦自己PR⑧現大手前生について思うこと、望むこと

緒方淳子校長先生

①理科(化学)②昭和六年十二月二五日③藤井寺高校④人類の未来(地球の変化、宇宙への進出も含めて)⑤バレーボール部(九人制)⑥風雪に耐える忍耐強さ、困難を乗り越える力量と視野の広さ、そしてやさしく広く暖かい心の持ち主、このような人材を世に送り出せたらと願っています。したがって高校時代は、そのような人間に自らを育てる基礎となるものを身につけさせる教育をと思っています。⑦なぜかいつも元気で前向きに生きています。好奇心が強く、したいこと知りたいことがいっぱい！気持ちの上での若さは大切にしたいと思っています。⑧すばらしい生徒だと思います。良くも悪くも学校を育て校風を作るのは生徒自身です。一人一人が自ら為すべきことを成し、誇りを



もって学校生活を送って下さい。明るく伸び伸び生き生きと！何かに集中し熱中し燃えることが出来れば素晴らしい青春です。皆さん何に全力投球しますか。将来飛躍するバネづくりとして根本的には日常の学業にはげむこと。

小牧義信教頭先生

①もとは数学②昭和十年十二月九日③城東工業高校④大手前の未来の新校舎、プライベートにはパソコン⑤音楽部⑥地道な努力で今基礎を固めることが、将来を見通す力と飛躍をもたらす。⑦はでなことは嫌いな性格で、すべてに無器用である。スポーツはある程度お付合ができると思っていたが、これも年。でも温厚で誠実でありたいと思っている。⑧みんないい意味で高校生らしく、まじめで礼儀正しい。あらゆることに幅広く興味をもって若さと旺盛な好奇心で毎日を有効に過ごすこと。



川越孝一先生

①理科(化学)②昭和二四年七月十六日③鳳高校④二一世紀の生きがい(仕事と趣味)⑤今では後悔しているのですが無所属です。⑥自らに誠実に生きることが、歴史的、社会的に意義のあることになるよう努めることに喜びを感じる教育がしたい。⑦本当に登れるのかな↓本当にしんどいな↓ああなんと素晴らしい眺めだろう。着実

男は強くなくては生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない。

に歩むことで毎回素晴らしい感動を与えてくれる山登りが好きです。⑧学習面・クラブ活動面でよく頑張られ、さすが良い伝統を受け継いでおられると思います。自らの可能性を大いに伸ばせる時期でもありますので、この伝統を誇りをもって継承して下さい。



黒田昭二先生

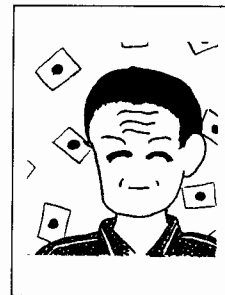
①社会②昭和三四年九月十日③阪南高校④音楽鑑賞(今、フリージャズ・現代音楽に興味があります。)街を歩くこと。⑤軽音楽部⑥学校での「現代社会」を自分の生活に還元してほしい。又は生活の中で確かめてほしい。⑦自分はひと昔前の「リベラル」かなと思うときがあります。⑧優しい生徒が多くてわりと「下町っ子」という感じの親しみやすさがあると思います。高校時代は自分の知識なり、内面なりをかぎりなく広げられるときではないか。何事も積極的に……



里 康平先生

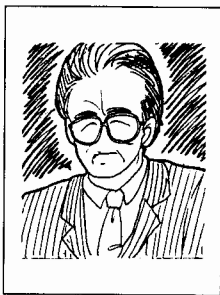
①保健体育②昭和十九年三月七日③三島高校④サッカー⑤卓球部(二年〜二年)サッカー部(二年〜) J・R・C(青少年赤十字)

⑥人間の持ついろいろな能力・可能性をできるだけ全面的に発達させる為の営みが教育だと思っています。どちらかと言えば、欠点を矯正するよりも長所を伸ばすことを重視したい。又、医学が健康を害してからの事後処理中心なのに対し、体育は心身の健康を増進する先手の教育であるという事に誇りを持ち、重要な教科だと思っています。⑦高二のとき創部したサッカー部が高三で県下優勝、同期の七人全員現役で大学合格。難破船救助(高二)。アルバイト経験八八種類など。何でもやってみようという好奇心と人と同じことはやりたくないという天邪鬼な心が同居している。⑧何事もきちんとやり、よく努力する点など、さすが大前生だと感心させられることが多いが、もっといい意味で恥も外聞も捨てて、目標に向かってがむしゃらに頑張るところがあってもいいのではないだろうか。



寺本義男先生

①理科(物理)②昭和六年一月十二日③貝塚南高校④クラシック音楽の鑑賞⑤自動車部⑥「一、二、三、...無限大」これはガモフのある著作の標題ですが、山登りのように、一步一步踏みしめて、無限の高さを目指してほしい。⑦自己PRなど一切しない謙虚な



バルタンくん ごめんなさい!

性格です。⑧バイタリティ・・・意欲的、積極的な勉学態度、何でも見てやろうという旺盛な知識欲を望みます。

校野 勲先生

①英語②昭和二四年四月二二日③夕陽
丘高校④たくさんあって書切れないが、
たとえば原発(広くは環境問題一般)
民俗学、音楽、児童文学、映画・・・
⑤クラブではなくあるサークルのよう
なことをやっていた。⑥視野を広く、
いろんなものに関心・興味を持ち、自
分でものを考え判断する力を身につけること⑦ものまねとダジャレ
が得意⑧教科書や受験参考書以外に本をたくさん読むこと。



秦 博先生

①英語②昭和二十一年七月二三日③住吉高
校④特にありませんが、たまに車に乗
るぐらい⑤なし⑥同じ学舎で生徒と先
生も共に学ぶという姿勢をいつまでも
忘れずにいきたい。⑦特にありません
大手前高校でお世話になるとは夢にも
思っていませんでしたが、大手前生の
みなさんと出会えたことに、深いご縁と無上の喜びを感じている私



です。⑧さすがが大手前生だけあって学習に対する姿勢のよさには感
心しています。人間的にもすばらしい人が多いようです。大手前は
どの輝やかなしい伝統をもつ学校も少ないと思いますので、その伝統
を受け継ぎそれに生きる人になってほしいと思います。

山口時正先生

①国語②昭和十年九月二九日③白菊高
校④一九八八年八月十三日にどうして
いるか⑤野球部・文芸部⑥ほとんどが
生徒の責任||生徒の自立性を望む||無
責任(だれの?)⑦特になし。昔も今も
これからも。⑧二十〜二五年前の印象
が強過ぎて、只今現在の「姿」が未だ見
えない。したがって、判断をしたり期待をのべる以前の段階です。



山元眞平先生

①国語②昭和二十七年七月三一日③八尾
高校④他の先生方がこのアンケートに
どう答えているか⑤地理歴史研究部⑥
LEFT IN BEH@RRすべき点なし⑧型
やぶりな人間が少ないように思う。先
生には本性を見せないのかもしれない
が。



くいはく…

南方熊楠のこと

緒方 淳子

南方熊楠のことは、十数年前に南紀へ旅行した時、人に連れられて記念館を訪れたのが知った始まりである。南方は、柳田国男と並んで日本の民俗学の草創者とされているが、民俗学の素養のない私にはこの南紀旅行までは無縁の人物であった。記念館に展示されている資料は、英文原稿、植物関係のスケッチと説明書き、書簡、写本、観察に愛用した顕微鏡、スケッチに用いた絵の具・筆等々夥だしく、内容も広い分野に亘るものであったが、彼の写真の生き生きと光った眼と特徴ある風貌、到底一人の人間の仕事とは信じ難い業績の数々を眼のあたりにして私は声もなくほとんど圧倒されてしまった。これが出会いであった。しかしその時は、それ以上何するということもなく年月が過ぎたが、昨年二月にまた南紀へ旅行する機会が出来、矢も楯もたまらず記念館へと白浜の街をタクシーで飛ばしたのであったが、より整理された展示と南方のデスマスクに再会し、以前にも増して強い感動を覚えた。

南方について少しプロフィールを紹介すると

田辺というと、天才、超人、巨人、奇人などと称された世界的な学者、南方熊楠の終焉地として知られている。記憶力抜群で十か国語に通じ、粘菌学の研究を中心に、民俗、鉱物、考古、天

文、宗教学などを研究する万能学者でしかもそれらのどの分野においても、ノーベル賞に匹敵する業績を挙げているというから空恐ろしい、巨大な異能の持ち主と言わなければならない。英文学術雑誌「ネイチャー」と「ノート・エンド・クイアリーズ」誌に三百数十篇の論考を発表しつづけている。紀州田辺を拠点とし、世界へ向かって、そのあり余る才能を発散、膨大な文化的遺産を残したわけである。柳田国男が、熊楠の巨大さに触れて、「私などは是を日本人の可能性の極限かとも思ひ、又時として更にそれよりもなほ一つ向ふかと思ふことさへある」と舌を巻いているが、これは、熊楠の人間離れた特異な才能に驚嘆するとともに、もはやそれは常人には手の届かぬ天才と狂気の世界にあることを言ったのであろう。

松原右樹氏の「マイカントリー田辺市 世界に知られた偉人南方熊楠」より抜粋

一八六七年和歌山に生まれ、一九四一年に七五歳でこの世を去った。幼時から人並みすぐれて知的欲求が強く、十歳で全漢文の「和漢三才図会」百五巻を読み始め、読破してすべてを五年かかって筆写している。「本草綱目」「諸国名所図会」「大和本草」など目につくものは読破して誦んじ、写本とするなど、後年「歩くエンサイクロペディア」と称されるもが、このように幼時から芽生えていた。学校ぎらいの勉強好きで、大学へは行かず、独自の研究・学問であったが行動的であり、採集に何昼夜も山野を駆け巡り、青年期にはアメリカ、次いでイギリスに渡り、数々の冒険をし、辛酸をなめて研究を続けている。またこの時期に孫文との出会いがあった。主

もう身体がもちましえ〜ん。

たる仕事の一つに粘菌があるが、あまり一般向きしない研究に心をうばわれた理由がもうひとつ私にわかっていなかったが、先日私が熊楠記念館で感想をノートに記したものを読んだ人から、粘菌のカラー写真集を送っていたので、そのこの世のものとも思えない美しい粘菌の姿を見て、しかも変形菌で刻々と姿かたちを変えする神秘さを持つこの生き物を知ってやっとな私にもわかったことは、熊楠はすばらしい感性の持ち主・美の追求者でもあったということである。一生を通じて身の内から突き上げて来る衝動のような探求心、好奇心、未知なるものへの渇き、何事も自らの眼で確かめずにはおかない実証精神、これらに自ら翻弄されるようにひたすら研究しつづけた熊楠、私はこのひたむきさとエネルギーに心ひかれる。また、人には奇行と写ることも、無頓着さ・正直さの故であったり、無垢純情であるが故に傷つきやすい心を持ち、自己中心に見える生活を家族に強いても心やさしく妻を愛し、狂気の息子を思つて苦悩する熊楠、偉人であるが稚気の人・けがれなき魂の持ち主熊楠の人間そのものに私は魅せられる。

南方熊楠については語るが多すぎるし私もまだまだ知りたいと思う。最近伝記として新潮社より「縛られた巨人」神坂次郎が出版された。人間熊楠を愛情もつて描いた大作で、一読をすすめたい。記念館で多くの遺品に囲まれた熊楠とデスマスクに相對するとき、「もつともつと生きていて、したい事があつたらうに」と病の床で寿命の尽きた無念さを思うと涙がこぼれる。民俗学をやっている友人から「熊楠をやりましょう」と声がかかつては来ているが、一人でそつと記念館に会いに行くだけにしておきたいとも思い、また或は熊楠にもつとのめりこみたいとも思い、友人の誘いに迷っている

私である。

禍福一如

小牧義信

私は、とあることが機会で、日本画家の南正文氏を知った。講演会に講師として来ていただくべく連絡をとった。彼は両腕ともその付け根からないのである。なにせ不自由なお身体なので、一人でここまで電車で来ていただくのは無理だろう、切符はどうして買われるのか、どうして改札口を通られるのか、やはりタクシーを自宅まで差しまわすか、お茶もストローをつけておかねば……等々、いろいろ気付かった。

全くそれらはすべて無駄な危惧だった。さりげなく「一人で電車で参ります。」とのこと。駅まで迎えに参上したが、改札口から出てこられたこの青年画家の明るいくつたの第一印象に「えっ、この人？」と内心驚き、とんでもない思い違いをしていたものだと自分を恥じた。

南氏について少しふれる。

小さい頃、家が貧しく家業の製材所の仕事を手伝っていた。ある日大きな機械のベルトにまき込まれ両腕を一瞬のうちに失った。小学校三年のときである。何日もの間、生死の狭間をさまよいながら、奇蹟的に一命をとりとめ、以後一年間の入院生活をおくる。入院中は病院の人達に親切にもらったが、退院してからが大変であった。一人では全く身の回りのことが出来ない。もし今自分から両腕

をとってしまえばどの様になるのか想像に余りある。

学校のすすめで養護学校に行ったが、困ったことはノートをとること。足に鉛筆をはさんで練習するが半年程は自分でも何を書いていのか読めなかったという。それでも練習に練習を重ねるうちに人が見ても読める字になっていった。一番辛かったのはトイレの問題という。これも食事制限や水分の制限で乗り切り学校生活にも慣れてきたが将来のことはとても考え得べくもなかった。辛い毎日であった。中学校のとき、これもある事件で両腕を落し京都山科に住む大石順教尼という日本画家を紹介され出合うことになる。二つの条件をつけられて弟子入りをする。一つは、堺から山科まで一人で通うこと。もう一つは、足ではなく口で描くことであった。堺から京都まで一人で電車で行くことは、しかも大きなハンデを背負っている身には大変なことであったに違いない。乗り替えが五回、早くても二時間半の道のりは、とても長くまた辛いものであった。やっとの思いで切符を買ってくれる様に頼んでも気持ち悪がって逃げていく人や、こんな身体でわざわざ出かけなくてもといわれたり、またそうかと思うと、自分は反対方向へ行くのに乗り替えまでわざわざごちちに回ってきて買ってしてくれる人、毎日毎日、様々な人とめぐり逢った。順教尼は「切符を買ってくれた人も、買ってくれなかった人も、みんなあなたにとっては先生なのです。神様はあなたを生かすため、いろんな人に出合わせてくれるのですよ。」とよく諭された。口で描くことについては「日本画というものは、床の間や応接間にかけてもらうもの、それを足で書いては失礼になる。人の目に見えないところに心使いしないと本当の心の障害者になりますよ。」と言われたという。

今まで足で描いていたものを口で書くということはこれまた容易なことではなかった。幾度となくじけそうになるたびに先生は「続けなさい。」の一言。絵筆をはさむので歯が痛く、肩こりもひどくて入院までしたが、不思議なもので字が一つでもまともに書ければまたそれが励みになり生きることの希望にもつながっていった。私も彼の絵を一度見たくて個展に行った。予想をはるかに越えた画風に唯々驚いた。画面全体から漂うやさしさと色調のすばらしさ、どうしても一枚欲しくなった。

今彼は、両腕がなくとも殆んど身の回りのことは自力で行なう。トイレのこと、衣服の脱着、一人でスケッチにも行く。しかしたった一つの苦手はシャツの小さいボタンをかけることだった。どうしてもできなかったが半年程かかってやっとできるようになった時の大きな感動は今でも忘れられないという。初め小さなボタンかけに一時間かかっていたものが今では一分もかからないという。

できないことと、しないこととは違うんだ。できないと思っただからできなかったのだ。と悟った。自活もでき、日常の生活にも困らなくなると、つい両腕がないことを忘れるようになり、今まで手がないことにこだわりすぎていたのではないか、切符を買ってくれなかったのは、その人が悪いのではなく自分自身が暗い顔をしていたからだと今では思っている。すべてのものに感謝したい毎日であるという。腕がなくなった時は、一緒に死のうと思った母もそれを実行しきれず自分を生かしてくれた。そしてこんな自分が一人で食べていける様、画家として強い人間として育ててくれた。順教尼との出逢い。一人の人間として、一人の人格として相手に選んでくれた妻。その他様々な形で見守ってくれてきた人々。みんなのおか

げで今の自分がある。何か社会に役に立たないかと思えばボランティアで東南アジアへ行ったり少年院の慰問に出かける昨今という。

「禍福一如」不幸は不幸で終らず、不幸が幸福になることもある。禍も幸せも同じであるということだ。南氏はかけがえのない両腕をなくしたが、それ以上に得がたい大切なものを得られた。

ところで、両親から五体健全なる身体を与えられた我々はどうかあろうか。せっかくの頭脳を、両手、両足を与えられながら、それらを充分に使用おとしめない我々の方が、人間としてどこか欠損しているのではなからうか。南氏のあの明るい光り輝やく顔は、今も忘れることができない。

すべてのものに感謝の気持ちを持ち、その瞬間瞬間を大切にして血のにじむような忍耐と努力のみが人間を大きく成長させるのである。



無題

平 正人

お別れにあたってお話ししたいと考えていたことを、「SPRING」編集委員のご好意で、この紙面を利用して頂いて、述べることになりました。

渡部昇一著「アングロサクソンと日本人」で読んだ、あるアメリカの弁護士に関することです。御存じのようにアメリカ人は裁判で事の決着を着けるのが好きです。従って、アメリカでは、弁護士は社会的地位も高く、収入も多くて、立身出世の早道になるので、有能な若者がこぞって選ぶ職業だと言われます。なかでも弁護士として歴史に残るほどの成功をおさめたのがリンドレー・マレーです。

ところで、マレーはその高名にもかかわらず、法廷に姿を見せることは滅多にありませんでした。彼は依頼された多くの事件をたいてい out of court 即ち示談で解決したからです。彼はモンテスキューの「法の精神」から、裁判は理屈と慣習の兼合いであると学びました。法律は人間の理性の貴い産物ではあるが、人間より法が主人であるといわれるアメリカの法廷では、とかく法理ばかりが先立っている。争い事を理性で解決しようとすれば、「盗人にも三分の理」の諺どおり、理屈は双方にあって争いは、いつまでも続いて、決着することがない。古い歴史を持つイギリスの法廷には、人間の感性・悟性にしたがう慣習法がある。これをアメリカの裁判に持ち込む必要があると考えたのです。

彼は示談による調停の名人だと言う評判を得て、たちまち生涯かかってでも使いきれないほどの財産を蓄えました。そこでマレーは当

時としては全く珍しく、アメリカからイギリスへ帰化し、ロンドン郊外に広大な土地を買いました。そこに公立の大植物園キューガーデンも及ばないほどの植物園を作り、そのまん中にアズマ屋を設けて、悠々自適の読書生活を始めました。

ところが、彼の住まいの近くに、クエーカー教徒の女学校が創設されることになり、その英語教育の相談が彼に持ち込まれました。

英語教育についてもマレーは裁判と同じであると洞察しました。言語現象を理性で体系化したものが文法であるが、それまでの英文法は、主に英米人以外の、即ち外国人の理論によるものであった。

そのためにしばしば英語本来の習慣的用法は理論に合わないものとして除外され、学校教育には適さない文法ばかりでした。マレーは基本的には理論にしたがって文法を組み立て、そのうえで、イギリス人の感性が許している習慣的用法を豊かに取り入れた文法書を一年足らずで書き上げました。この文法書はイギリスの学校教育に最も適したものとして使用されるようになったばかりでなく、世界各国でも永く用いられてきました。ことにわが国では、明治初年以來学校文法はこの「マレー英文法」が主流を占め、諸君が学んでいる英文法もまた「マレー英文法」に基づくものなのです。

この話はとても私のきいています。子供の頃からとかく理屈屋だと身近の人々からいやがられてきた私が、三十年以上もの長い間、一つのところに勤めることが出来たのは、百年の歴史を持つ大手前の感性・悟性が理屈っぽい私を温かく包んでくれたからだと思えます。お別れに当たって皆さんになにもましてお願いしたいのは、百年の歴史が育んできた大手前の感性をいつまでも失わぬように大切にしたいということなのです。

そしてもう一つ、英文法家マレーが木立に囲まれた環境の中で、「英文法」の名著を生んだことです。この度の校舎改築にあたって校庭の多くの木が切り倒された時には、まるで身を切られるような思いをしました。最近の脳科学の研究成果を引き合いに出すまでもなく、緑豊かな木立が感性に支えられた学問理論に欠くことの出来ない環境であることを、マレーの植物園での読書生活が示してくれています。新校舎が完成した時には、次の百年、大手前を学問の場にふさわしくしてくれる木々で、校庭を緑に覆って下さることを心から念じています。

核について

桑原 啓

昨年十二月八日、米ソ両首脳により、地上配備のINF（中距離核戦力）全廃条約が調印された。現存する核兵器の僅か数%についての廃止でありこれで核戦争の危機がなくなったのではないが、今までの際限のない核軍拡を止め核削減の方向への第一のステップになる画期的なことである。

核についてのこの数十年について考えると、私自身つねに強い関心を持ち続けていることを自覚する。

太平洋戦争の終り頃、マツチ箱くらいの大きさで軍艦を何十隻を爆破する新型爆弾がドイツで発明され、それを使うと当時日本と軍事同盟を結んでいたドイツは必ずアメリカ・イギリスに勝つという噂があった。事実とは思われなかったが、昭和二十年八月の広島・長崎の原爆（当時新型爆弾と報道されていた）を知りそれが現実の

「わかりましたか？わかりますね？わかりませんか？わかるでしょ？」

ことであることを思い知らされた。

そのとき、私の父が広島に行っていて原爆にあっている。文字通り着のみのままで杖をつきながら山口県の家に戻って来た。『朝ピカッと明るい光を見たと思ったら気が失ない、気がついたときはこわれた家の下敷になっていた。そこから抜け出して広島街を歩き川を渡った。多くの人が死んでおり黒こげになった人も見た。多くの人が路上でまた川の中で死んでいくのを見た。……』私は父が事実を誇張しているように思った。父はその後その話をしなかった。数年後に死んだが、今考えるときも多くのことをきいておくべきであった。

広島・長崎で数十万人の人が死にそして今も放射能による障害などで苦しんでいる人が多い。被爆の状況についてはいろいろの本や映画になっているがその状況の中に父が居たことを思うと胸が痛む。物理を勉強して、アインシュタインの質量エネルギー法則で、1gの質量がすべてエネルギーになると 9×10^{13} ジュールになり、これは約1kgのウラン235の核分裂によって可能であることを知った。また核分裂生成物(死の灰)は放射性が強くそれだけでも多くの人を殺しさらに子孫にまで影響を及ぼすことも知った。

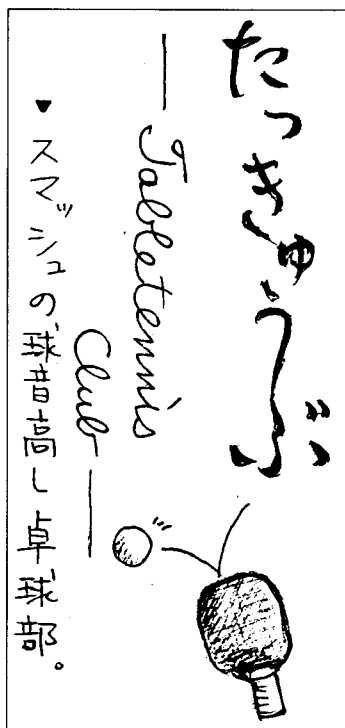
昭和二十九年三月、ビキニ環礁の水爆実験で、第五福竜丸をはじめ何十隻の漁船が死の灰をあびて、船につんでいたマグロが放射能で汚染された。また船長の久保山氏が数年後に放射能のためになくなっていった。

このとき中之島にあった阪大医学部で死の灰について考える小集会があり、是非知りたいという強い気持ちで参加した。核の強力な破壊力とともに放射能の恐ろしさを痛感した。集まった人たちは、

原水爆をなくそう、核戦争を防止しようという強い意欲を持った。私のようなひっこみ思案のものも署名運動などにとりくんだ。これらの運動は現在もいろいろの形で続けられており、世界中へ広がっている。物理化学を教える立場にある理科の教師としても核の恐ろしさを皆に知ってほしいと思っている。

数年前、NHKが、特集「核戦争後の地球」を放映した。現存する核兵器は五万発といわれているがそのごく一部を使ったとき地球がどうなるかについての各国の研究を紹介したものであった。核戦争は人類の歴史や文化を無にするだけでなく、この宇宙で、他には多分無いだろうと考えられている「水があり生命をはぐくむ天体」である地球を破壊するものであることを訴えていた。

反核平和の世論をもっと大きくして、このかけがいのない人類と地球を守りたいと思いつけている。



「故にだからしたがって…、これはコーサインθとなるんですねえ。はいっ。」

読みもの

アンナの日記「レイズナー外伝」

一年六組 天使のため

十月九日、私たちは遂に脱出用シャトルで火星を飛び去った。生きて地球へ帰れる確率は極めて低いものだったが、私たちをここまですべて守ってくれたあの人を信じて、運命を彼に託した。どこへ逃げても迫り来る敵は、私たちに一時の安らぎさえも与えてはくれない。

*

西暦一九九六年十月六日、私は生まれて初めて火星に足跡をした。私の名はアンナ。十四歳。宇宙体験学校コスモ体験学校のメンバーの一人としてこの星に派遣されたのだ。宇宙体験学校というのは、国連宇宙局が子供達に宇宙生活を体験学習させる目的で企画したプロジェクトだ。そのメンバーは、世界各国から募った子供達で、さしずめ宇宙のJr.オリオンピックといったところだろうか。

でも火星に来てショックだった。現在この火星には、国連観測基地以外にもアメリカやソ連の軍事基地があるのだ。第二次大戦以来、地球上で米ソ両国が軍事競争をしていることは知っているが、火星にまでお互いに軍事基地を持ち、密かに冷戦を続けているなんて想像もしていなかった。その中で唯一、火星の平和を保つための緩衝地帯の役割を果たしているのが、この国連観測基地だということだ。

「こんな所に来てまで、なぜ……。私達は他の惑星に移住できるほど知恵と力が進歩したというのに、なぜいつまでも同じ人間同士いが

み合うのだろう。」

私達が基地内メインホールで観測員の歓迎を受けている最中のことだった。突然、警報ブザーが鳴り響き、耳をつんざくような爆発音とともにエアポートに続くホール右半分が四散した。その衝撃のためメインホールの天井も音をたてて崩れていった。辺りは一瞬のうちには地獄絵と化した。あちこちで悲痛な断末魔の叫び声が聞こえる。「米ソ両軍基地が戦争を始めたのか——」私はとっさにそう考えた。でも違う。今まで見たこともない明らかに地球のものではない飛行物体が、この観測基地を破壊しているのだ。あまりに実感の伴わない恐怖感を味わいながら、私は立ちすくんでしまった。これが私達と異星人グランドスの最初の遭遇だった。

——どのくらいだったのだろうか。私は薄暗い部屋の中に寝かされていた。どうやら私は気を失っていたようだ。外では未だ激しい爆発音が響き、時折背筋が寒くなるような金属音と振動が伝わってくる。

「ようやく気がついたわね。心配したわ。」

「ドクター！アサー、デビッド、ロアン、シモーヌも！みんな無事だったのね。でも他の人達は？メンバーのみんなはどこ？」

誰も何も答えてくれない。重苦しい空気が部屋中に漂っている。永い間——実際は3、4分だっただろうか——不意に戦闘音が止んだ。

ズシン：ズシン……。重い足音がして青いマシンが近づいて来る。搭乗者が静かにヘルメットを外し、私達の前に姿を現した。「？」

「僕はエイジ。グランドスから来た。……地球は狙われている！」——これがあの人との運命の出会いだった。

「やかましいなァ」

*

この三日間の様々な出来事を思い返しているうちに私は眠ってしまった。火星を脱出した安心感からだろうか。——アンナ、アンナ——
「えっ！」エイジの声で我に返った私はモニターを見回した。
「起こしてしまっただかな」

「ううん。いいの」

「みんなこの三日間、緊張が続いたせいとか、疲れているようだ。」
後部のシートを振り返ると、みんな眠っている。不思議なまでの静寂感がシャトル内部を包み込んでいる。私は何か充実した時を送っているようで、ずっとこのままでもいられたら……なんて思ってしまう。

「アンナ、僕は幼い頃、両親に『宇宙はどうやってできたの？』って訊いたことがあるんだ。二人とも『宇宙は大いなる愛の意志によって創られた』そう答えた。」

「……愛の意思……」

エイジの父のケン・アスカは、その昔アメリカのアポロX計画によって単身月に着陸した日本人宇宙飛行士だった。が、通信装置の故障のため失敗と見做され、非公式のまま計画は打ち切られたのだ。帰るエネルギーもなく漂流すること三週間——彼はグラドス探査船に救出された。そして、「生きた標本」としてグラドスに連れ去られたのだ。彼を待っていたのは、科学者グループによる生体調査や尋問だった。そんな時、苦痛に耐える彼を陰で支えたのがアイラ。やがて二人の間に愛が芽生え、エイジが生まれた。すなわちエイジはグラドス人と地球人との混血児だったのだ。

ところが、グラドスにおいて恐ろしい決定がなされ、それが実現

へと向かい始めた。ケン・アスカの地球に関する情報を検討した結果、グラドス・地球間の戦争を未然に封じ込めるために、君主ギル

ラが地球征服を決定したのだ。彼らは地球での米ソの冷戦状態を知り、米ソ間に戦争をさせようとしているのだ。もしそんなことになったら地球は……。グラドスは地球征服艦隊を編成、地球に向けて出航した。事態は既に取り返しのかぬ方向へ進み始めたのだ。

——この地球の危機を知ったケン・アスカは故郷の地球とそこに住む人々を守るため、息子のエイジにその使命を託したのだ。

*

私達は、火星でグラドスの掃討作戦にあつて以来、何度もあの人に助けられてきた。圧倒的軍事力を誇るグラドスから逃れ、ここまです命を延ばしてきたのだ。もう自分達の運命に迷ってはられない。この危機を一刻も早く地球に伝えねば。

*

十月九日、今日から私は日記をつける。いつかグラドス・地球間の平和が訪れることを信じて——

主に エポック社の
パワーベースボールを
やってあります。
活動日 火・金・土
所 化学講義室
D&D なんかエヤうと
思ってます。興味のあつた
は来て下さい。
難しいコミッションゲーム
ばかりではありません。
「研究は暗くナイ」
ゲーム研究
同好会
エヨロシク!

「コピーはイヤ！」

北 杜夫のメルヘンのすすめ

一年六組 大手前純情派

みなさん、北杜夫という小説家を知っていますか？文学史を習った人なら知っているはず。「椽家の人びと」や「白きたおやかな峰」などで有名な小説家です。今でも彼はたくさんさんのエッセイや小説を發表しています。彼は斎藤宗吉というのが本名です。昭和四十年代のスーパースターで、非常に中高生にうけていました。例えば「月と十セント」というエッセイは、中途半端な形で中断したにもかかわらず、大変おもしろいので、文庫本が次々と増刷されています。でも、ここで紹介するのは、彼のメルヘン（童話）についてです。みなさんに一読をお勧めします。

彼の童話は、一口にいうと楽しくて暖かいのです。私が一番好きな「怪盗ジバコ」を例にとりますと、明智小五郎とジェームズ・ボンドの対決があって、両者とも「怪盗ジバコ」には歯がたたない。彼の正体は自分も知らないし、盗めないものは何も無い。盗み方はユーモアたっぷりでしたが大好き。そのへんの痛快さが読んでいて楽しいということにつながっているのではないのでしょうか。そして、この抜粋を読めば、とにかく心暖かいということがわかってもらえるはずです。

『なんとなれば、わしは君を、日本に於ける怪盗ジバコの伝記作家に任命しようと思っているのだから』

『それはたしかに光栄なことだ』

と、北杜夫氏はどもりがちに言った。

『けれども、またどうして僕なんか目につけられたのですか？』

『わしの伝記作家は』

とジバコは言った。

『まず一風変わっていて、好奇心の強い人間でないといかん。君は猿のパイプの一件（これは、猿のパイプで北杜夫氏がジバコにおどらされた話——注、引用者）でそれに合格したわけだ。もう一つの条件は』

ジバコは嗅タバコを取り出して耳の穴に入れながら言った。

『これは少し言いにくいことなんだが、間が抜けていて愚かで、あまり作家であってはいけないのだ。』

『それはまたどうしたわけ？』

と、北杜夫氏は少なからずムッとして問い返した。

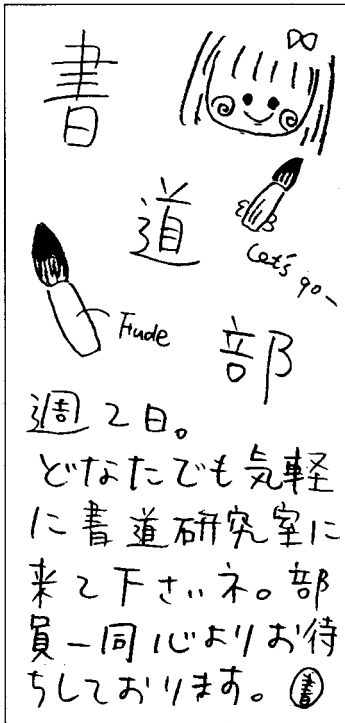
『どうして作家であってはいけないのです？』

『大作家はなにからなまでに完全に造形する。偉大な人物は偉大な人物として小説を書いてしまう。』

と、ジバコは寂しそうにこたえた。

『わしは小説の中で永久に生きたいとは思わん。それより、わしは世界各国の人々の夢想の中に生きたいのだ。』

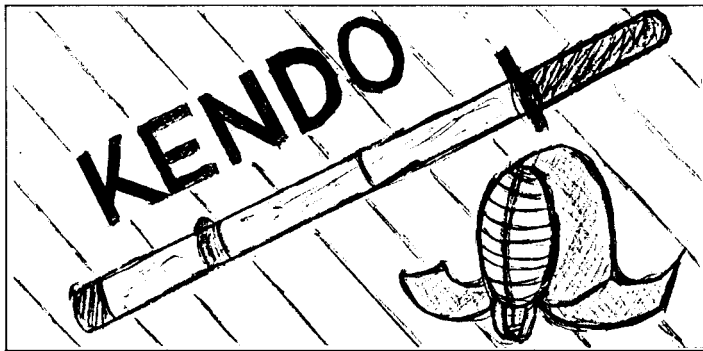
このような暖かいヒューマニティは、文中至るところに見られます。植谷雄高（小説家。高橋和巳や倉橋由美子を育てた名指導者でもある。代表作『死霊』）は、読者がジバコに共感するゆえんは、ジバコが単なる勧善懲悪主義で形成された人間ではなく、もっと人間らしい人間であるからで、とくに彼のチャレンジ精神が読者を魅了するのではないかと、言われています。こういうことはジバコに限らず「さびしいシリーズ」にもありますし、大人のメルヘンと呼ばれる「黄色い船」にもたくさん出ていますし、彼のメルヘンの



代表作とされている「船乗りクプクの冒険」にももちろん登場します。さらに彼のメルヘンはむき出しの笑いではなく、いつも柔かいヴェールに覆われています。色で表すと、白がたくさん混ざっている淡い色ともいえる白い抒情性というヴェールに覆われた笑いで、これも暖かさと呼び出すもとなっているのではないのでしょうか？彼の童話のおもしろさはもう一つ、計算しつくされた文章であるにもかかわらず、新鮮さが全く消え失せていないということでしょう。彼の童話は、この三つの要素を軸として形成されていると私は勝手に思っています。

新作「大結婚詐欺師」は、私はまだ読んでいませんが、紹介文によると、この主人公はジバコのような暖かい心の持ち主のようです。私は、この本も必ず読もうと思います。

みなさん、この文章を読んで北杜夫の童話を読みたいと思われませんか？確かに活字に抵抗がある方も相当おられるようですが、まずは読んでみて下さい。私も彼の童話を読むまでは、活字が大嫌いだったのです。



「サインはV」をもじって「サインはY」と覚えるねんで

ファンタジーゾーン

THE CHOICE

二年十一組 和田 曜 章

あなたは今、ファンタジーゾーンに入ろうとしているのです。

それは夢？それは幻？それは超現実？

これから三ページ、あなたの眼はあなたの体を離れ、この不思議な世界の中へ入って行くのです。

ザ・ファンタジーゾーン。

今日ご紹介するこの物語、タイトルは「選択」とでもしておきましょうか。

この物語の主人公には、別に名前だの職業だのは必要ないんですが、まあ都合上、「あなた」とでも名付けておきましょう。そう、「あなた」です。

職業も「あなた」、性格も「あなた」、それなりに幸せを感じ、それなりに哀しみを感じて生活している「あなた」です。

「あなた」は今、疲れてベッドに横になっています。何故かはわかりませんが、お疲れになられたとか、お悩みになっているか、そんなところでしょう。ま、話には直接関係ありませんから、深追いはよしましょう。

しばらく目を閉じて休んでいた「あなた」は、ふと目を開きました。すると目の前に、ぬうっと男の顔がありました。

「ギャア×10の23乗」

そりゃあ、びっくりするでしょうねえ。誰だって目の前に顔がぬうっとあればびっくりします。「あなた」として例外ではありません。

「どーも、どーも」

やけに愛想よく、男は挨拶しました。

「私、宇宙人です。」

「は？」

「宇宙人です」

「……」

「宇宙人なんですけど」

「なるほど」

「いえ、宇宙人と申し上げてるんですが……」

「聞きましたけど」

「信じていらっしゃらないでしょ？」

「その通り」

「あっさりとまあ。じゃあ、証拠をお見せしますよ。何食べます？」

「……は？」

「御注文は？」

「……ラーメンお願いします」

「へいお待ち」

「……」

「のびますよ」

「えっ？」

下を見るとラーメンがちゃんと出ています。もちろん本物。まあ魔法か何かのたぐいでしょうが、呪文も何もないと味気ないもんで

いますが、ま、そんな事を言う人はいないでしょう。

学校教育では、人を助ける方を選ぶとほめられますが、生きていくのに百点なんて何のメリットもありません。

結局、人権だの平和運動だのは、「自分」が基盤なんですね。

そうなれば答えはひとつ。「あなた」の方も決まった様ですね。

「ハイハイ、わかりました。では、私は帰りますので：」

全面雲張りの床のオフィス。宙に浮いている「天国局人事部調査課」のプレート。

さっきの男が帰ってきました。どうやらここの方らしいですね。

同僚の方と何かしゃべっています。

「あー疲れた。今日だけで三十人まわったんだ」

「どうだった」

「ダメダメ。全員不合格」

「今までかなりまわったけど、天国入り出来たのは一人もいないぜ」

「まあ、それだからあんなばかげた事するんだらうけどなあ」

「コラあ！その二人何やとるかあ!!」

課長の一喝で二人はまた仕事に出て行きました。ご苦勞な事です。それでは今度は、課長さんのグチを聞いてみましょう。

「まったく…。時間がないのにサボリやがって。四五億もいっぺんに来るんだから忙しいんだ。しっかりせえ、もっと」

何を忙しがっているのかよくわかりませんが、相当大変な状況の様です。

部屋の雲壁には、大きなノルマ表と電光掲示板がありました。

電光掲示板には、「全面核戦争まであとX日」とありました。

ある英語学生の学校英語に関する小論

二年六組 双鼻成政将正勝

学校の英語はつまらない。Rは、訳読問題どこふく風、と読んで訳の繰り返し。Gでは数百年前の文法を詰め込まれる。(アメリカでの日本語授業は、日本人教師が、各自製作した教材を使いつつフリー・トーク中心で行うそうだ。)また単語集を買わされ、それぞれの単語の単語集に書かれた意味を覚えたかテストされる。

果してこれは役に立つか。答えは否である。外人の会話を傍で聴

いていても意味がつかめない。英字新聞も「タイム」も読めない。

洋楽もビートルズならなんとかついていけるが、マイケル・ジャク

ソンの早口には文字通り舌をまく。

何に問題があるか。まず訳読。授業では英文は全て和文にする。

漢文の如く、単語から単語へ行きつ戻りつし、とどめに「訳の公

式」を使うのだ。そしてその癖はもうとれない。

The best way to learn a foreign language is to go to the country in which it is spoken.

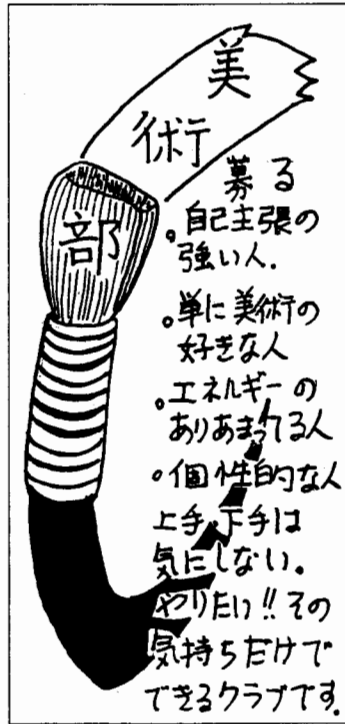
という文があれば、例の手順で訳す。それで終わり。(昔渡米した日本人の多くは英語を話せなかった。一方で、日本を出たこともなく

流暢な英語をしゃべる人もいる。この文はデタラメだ。)と考える人はいない。要するに、伝達内容は無視しているのだ。また単語集

死んだ魚の様に並ぶ単語に、平然と「意味」が書かれている。私はこれを見る度に、中一の時Y M C Aで教わった某大学の教授が、

「英語と日本語の一对一の対応などあり得ない。」と力説なさったことを思い出す。

「英語をイメージで理解する」と言えば、英語の先生には怒られそうだが、これこそ直読（直聴？）直解、ひいてはコミュニケーションのできる英語への第一歩ではなからうか。



一心、二部優勝をしています。
 初めてのの方、簡単です。
 経験者の方、お待ちしています。
 単純で奥深いソフトボールです。
 一度、見に来てください。
 硬式だけが青春ではない!!

コンピューターと私たち

三年六組 大北 雄之
 三年四組 太田 尚稔

「初めに……」

このように機械文明やコンピューター社会について情報がうずまき中、これらの持つ意味を正確につかみ判断し、批評するのは、むずかしい。コンピューターを理解して欲しいと思う反面、その危険性を十分理解していただきたくて、こんなたわごとを書いてみた。

「産業革命による機械文明」

十八世紀、イギリスから始まった産業革命は、人類の生活を変化させるようなものを発明し、作り出した。今や人類の生活は、これまで（革命以前）の様式を失いつつあり、その全体がひとつの機械文明につつまれてきている。しかしそれで本当によいのだろうか。昔、人は陸を歩いて、海や川を舟を使って旅をした。現代ではどうだろう。旅をするのに陸は自動車や列車で、空は飛行機でというように、たった二世紀の間でこの変化は著しい。人類が、だんだんとこのように機械にたよる度合が大きくなっているということは、最終的には我々は機械の一部として、もしくは、機械の奴隷として生きていくことを暗示しているともいえるのではないだろうか。この最終結果を示すひとつの兆候としてコンピューター社会がある。

「コンピューターにみる世界の日本」

江戸時代初期から続いた鎖国政策が、外国の機械文明にもろくもくずれたことは、よく知られたことである。その当時、日本は文明という面において欧米諸国に比べるとまだ未開の国である。その全てにわたり劣っていた日本が、約百二十年たらずでこれらの欧米諸国に追い越そうとしている。もちろんこれはコンピューターを含めた機械文明によってである。

元来、欧米から伝わった機械文明が、このように日本で発達するとは誰が思っただろうか。昭和初期に科学技術の分野においてとり残された日本が、今やコンピューター先進国として世界を牛耳っている。

コンピューター先進国としての日本は確かに優れた科学技術をもっているが、その反面この技術があまり外国に輸出されているようには思えない。(その理由として、コンピューター企業の独占的性質などがある。)そのため日本は、世界の中にあるのではなく、世界という枠組みを越えたところに陣どっているように思う。それは、まるで世界から見放されているかのよう。

「日本独自のコンピューター文化——ワープロ——」

地球上には独特の文字を持っている文化が多くある。それに対してタイプなどの文字文化を補佐するような機械文明が生まれた。一つの言葉の中で単語を構成する文字が少ないとその機械も簡単だが、逆に漢字などの表意文字をもつ言語では普通多くの文字をもっている。そうすると機械を作るのはかなりむずかしくなる。確かに日本語タイプのようなものもあるが、それは日本語を持つ文字の一部しか表せない。ここで特に日本語について述べると、日本語は他国語

を吸収することで形成されてきたため、今ではかなり文章表現がバラエティーに富む様になりつつそうタイプ系の機械ではおいつかないのである。そこで現コンピューター社会によって生まれるべくして生まれたのがワードプロセッサ(通称ワープロ)と言えるのではないだろうか。

つまり言いたいのは文化と文明の親密な関係は見すげえないということである。(なお、ワープロがコンピューターではないと思われるかもしれないが、ワープロにはタイプ系とは違った機能をもっているのではコンピューター系列の末端として書いておく。)

「コンピューター企業によるコンピューターの独占・拡大」

我々の生活している社会にあるコンピューターは、その用途により三種類に分類される。一方は主にゲーム・グラフィック・サウンドなどに適した遊戯的なもので、もう一方は主として演算・統計・データファイルなどに優れた業務的なものだ。又、もう一方として、家電製品の中にあるコンピューター。

これらの企業名・商品名を見ると、企業名は、ある一定の企業名であり(NECやIBMなど)、また商品名については、似たようなものが多いことがわかる。企業名が一字であるというのは、コンピューター産業がある意味で独占的な要素をもっているからなのである。それにこのような企業は有名であり、信用がある。また同一企業による商品名の類似は、ひとつにはコンピューター間のデータ・プログラムの互換性を重視しているからだと思われる。(たとえばNECのPC-801シリーズ)

しかし、アメリカのメーカー間では互換性があるのに対し日本の

メーカー間で互換性がないというのは、実に腹だたしいことだと思ふ。商品名類似のもうひとつの理由として本体自身の本質はかえらずに元になるコンピュータにいろいろな機能を新しくつけたり除いたりしたからだと思われる。(ex NECのPC-8001シリーズ)

さてここで問題になるのは、コンピュータに見えないようなミシンや炊飯機などに小さなコンピュータが組みこまれていることである。大自身の周りにある家電製品には組みこまれているため、もしこれを大きな権力が集中管理したら、世界は、おそろしいことになるでしょう。

「複雑化を極める現コンピュータ社会」

現在、どれだけコンピュータが日本でまた世界で使われていると思うだろうか。コンピュータは我々が生活している社会のほとんどのところに進出してきている。これらのコンピュータは、高級なもので数十M以上の演算容量をもっている。

今、コンピュータが日本で大量生産されているが、その大半が単体コンピュータ(ここでは、主に孤立化しているコンピュータを示す。)で、残りはいわゆる複合コンピュータ(電話回線やケーブルなどで他のコンピュータとつながっているものを示す。)である。

量的にいうと単体コンピュータにくらべて、少ない複合コンピュータですが、そのおよぶ範囲といえれば日本全土を覆っているといえる。それ由、今ではある地域でつくったデータがそのまま他の遠くはなれた地域でうけとれるだけでなく同時に多くの人が、それをうけとることが可能になってくる。先に日本全土と書いたが、

将来、海底ケーブル、衛星通信によってその範囲が地球全体となり、ますますコンピュータどうしのつながりが複雑化するだろう。

「コンピュータと人工頭脳(感情ユニット)」

「楽しい」、「楽しくない」。結局みなさんは、この二つの感情で行動していませんか? 楽しかったらする。そうでなければしない。大體のことは、この感情を基準にしていると思う。もう少し厳密に言うべきだろうが、この感情をもってすれば人は円滑に事がなせるだろう。そこで、コンピュータも「楽しい」、「楽しくない」で行動つまり情報処理をさせようというのが、「感情ユニット」についての考え方である。

たくさん与えられた情報をコンピュータが楽に処理できるものからする。「楽しい」ことからするのである。そして、「楽しくない」ことへと進むと人に助けを求めたり、処理した情報から助けを見つかりする。これは円滑な方法だと思ふ。

さて、感情ユニットの完成後には、一段とコンピュータは多くの情報処理をするだろう。それが人に、ひいては地球に、どんな影響を与えるかはわからない。しかし、その開発は進んでいる。それが、現代科学(コンピュータ)技術なのだ。進むしかないのである。

「コンピュータ観念」太田の場合」

コンピュータというとか近よりがたいものだという人が多いかも。しかし我々が日常知らないうちに見たり、さわったりしているものの中にコンピュータと呼べるものがいくつかある。

電卓は確かに機械であってコンピューターでないといえる。ところが元をただせばコンピューターは計算機の発展したものだ。コンピューターの内部での仕事は主に計算なので、結局電卓と同じ部類に分けられるのだ。

十一×÷の四つしかないコンピューター(電算機)、さてみなさん、どんな印象を持っているだろうか。私はすなおな奴だと思っだろうか。

『「てくにかるさいえんすと一生懸命」大北の場合』

「バースク」「アーンク」と言っても分からないかもしれないが、実はこれ昨年のスプリングに載っている大きなへんな字の読み方である。この字は一字でとてつもなく多くの意味を表しながら詰まる所一つのことを言っている。他に沢山字があってこれらの字を梵字(サンスクリット文字)と言う。

これらは印度、西藏における哲学で使う「真理」とか「悟り」とかを表している。では「真理」とか「悟り」って何だろうか。これは私の解釈で申し訳ないんですが、例えば感銘をうけた。そこでパッと、もしくは何かしらじわじわと、一つのすっきりした考え方が見えてきて、それを持つに至ったことじゃないだろうか。もしそうだとすると、私はいったいこの「真理」や「悟り」を得るには何ができるだろうか。又、私が生きているのはどんな意味があるのだろうか。それを捜したいとすると、「一生懸命」に生きていけばいいんじゃないかと思える。いかがだろうか。

一生懸命に生きようとしているこの地球上では、科学技術がそれ怒濤のごとく溢れています。その溢れている技術は、とうとう宇宙

に地球上と同じ環境(これを擬似生態形という。)を作ろうとするまでに至る。凄いな。

ん？ちょっと待って。何故、地球外に地球と同じ環境を作る必要があるのだろうか。人口が増えたからだけだろうか。どうやら違うらしい。文明は森を破壊しながら増長してきた。と某TV番組でやっていた。私もその意見に賛成だ。つまり大事な地球をだめにしなから(つまり公害なんぞを作りながら)人間は増長し、地球が息苦しくなったら宇宙へ出る。これでは宇宙まで、だめにしかねない。こんな危機感が私にはある。

せめて地上を綺麗にしてから、生粋のフロンティア・スピリットで宇宙に乗り出して行けるといいですね。

私は将来、技術の中に身を置くつもりだ。そんな中で「一生懸命」生きて行きたいと思ってやまない。

「最後に……………」

今回のこの記事を書くにあたって前回のスプリングでのPCCの記事に少しでも補いができたと思っっている。

真理のために

三年六組 ベートーヴェン弦楽四重奏第14番が響く

わたしは三万人に対して、たったひとりなのか。そうではない。

あなた方は、宮廷やべてんを、後生大事に守っているがいい。わたしは真理を守る。それがわたしの力のすべてだ。わたしは、真理を失えば滅びるのだ。わたしには、非難や迫害がたえないであろう。だが、わたしには真理がある。ついには、だれが勝つかを見てみようではないか。

——パ斯卡ル

以前、祖父に年齢を尋ねたことがあった。祖父はもうろくしてか自分の歳も忘れたかのようにだったが明治四二年生まれということで計算したのを憶えている。これは骨の折れる作業だった。今が昭和何年で大正十五年と昭和初年が同じで——祖父の年齢がわかったのはかなり後だった。明治四二年など言わずに西暦で言えば楽なのにも思った。しかしこの元号という奴、よく、いやたいいてい、いやしょっちゅうお目にかかる。何だこりゃ。——朝起きるとまず新聞に、学校行く時の定期に、食堂でラーメン食べたら百六十円。どの硬貨にも「昭和」。何で西暦使えへんねん、今は国際化時代やで。何で昭和やねん、何で天皇の呼び名で年を表すねん。ガキの私は定期券更新の際、ささやかな反抗を企て、昭和〇年の欄を二重線で消し西暦で記入したものだ。が共通一次願書には逆らえなかつた。情けない。しかしまさか今を昭和天皇の御代〇年とは言わないだろう。では何故昭和なのか？私の天皇制への異化はここから始まった。

日本人である以上、人間である以上完全な客観視は出来ないが私は天皇制への異化を試みた。俗に「恋は盲目」と云う。ホレてしまえばアバタもエクボ、日本文化の中に育ったからにや気づきにくいのは天皇制。異化すれば見える見える、時代のキケンさ。

我々は昭和に馴れ、生活の一部とすることで天皇制を同化してしまわないだろうか。しばらく前の天皇在位六十年記念金貨、十万円のアレ。多くの人はブレミアを見込んで買ったようだが天皇金貨は金でもってこの昭和六十年史の前半を覆い隠しはしないだろうか。金貨を通して天皇制を無意識に受け入れてはいないだろうか。うちのバアさんはテレビを見て「美智子さんおやせになって」などノンキなことを言っているが果してそれでもいいのか。それに日の丸。大手前は卒業式にアレを掲げないので私も誇らしかつたこともあったが（玄関にはハタめいていたが）百周年式典で見事裏切られた。日の丸掲げた大東亜共栄圏、日本を中心にアジアの国々と共に繁栄しよう——この程度の寝言でよく国民をダメさせたもんだ。強制連行、皇民化政策、日本語強制、泰緬鉄道、三光、万人坑、従軍慰安婦狩り、七三一、南京——この信じ難い悪業の連続はあの旗の下で行なわれたものではなかったか。ナチのハーケンクロイツ旗は避けても日の丸がそれほど避けられていない（むしろ押し付けられている）のは事実が完全に伝わっていないからではないのか。かつて私は戦後ドイツはポーランドと協力して教科書を作っているという事実に打ちのめされたことがあった。未来を救うのは過去の記憶だと思う。また、十五年戦争に於いて近代天皇制のポロがもはや繕えない程にさらされたことも明白である。しかもそれは革命という形ではなく、敗戦によって外から暴かれたことも事実だ。つくづく日本人は情け

ない。また近年、あの時まだまだ戦う力があつたがあの「御聖断」あつてこそその今日の繁栄だなどと云う妄想に基づいた暴論がまかり通ろうとしているが、その論理を通すと開戦の「御聖断」を下したのも天皇となる。さらに開戦時天皇は内閣に逆らえなかつた程度の論理でまた国民をダメせると思っているんだから我々をナメるにも程がある。自民党内閣の下で復活しつつある戦前の近代天皇制は当時の支配者の為の土壌造りの切り札ではなかつたか。何を行うにも天皇の絶対命令として行える。何たって天皇は「現人神」なのだから。当時の官僚、軍部は天皇制を隠れミノにし、その内で甘い汁を吸い、国民、植民地民を戦場へ狩り立て、大陸で極悪非道を尽くしたのではなかつたか。この不合理を押し通す為に言論は弾圧され、この悪名高い法律が幅をきかし、事実を歪曲した報道がなされ、警察という名の暴力装置が置かれたのではなかつたか。そして現在、その状況に近づきつつあるのを認めざるを得ない。大東亜戦争（敢えてこう呼ぼう）が天皇の名において行なわれたのなら、また日の丸、君が代を通して我々が再び天皇制を同化してしまふ土壌を許すのなら、我々日本人が第三次世界大戦の引き金を引かないとは誰が断言し得よう。

五十年前、我々日本人はおかしいことをおかしいと声高に言わなかつた。国体に反すれば特高行きだし、近所からは非国民というレッテルを貼られる。寄らば大樹の影、長いものにまかれる、自民党を肥え太らせた今の体質そのままにおかしいことをおかしいと言えなくなつた。今、私はおかしいことを言おう。あの猛烈な神格化は何？あの不自然なまでの敬語の嵐、別格扱いは何？私は天皇制は批判しても天皇自身を批判するつもりはなかつたが、あの病気で倒

れる前のたわごとは何？「沖繩へ行ったら長年県民が味わつた苦勞をねぎらいたいと思います。」——神が言うならわかるが人間天皇と言いながら、「ねぎらうなんて何さ言つてくれるじゃないの」と思う（倭万智風に）。貴あれば賤あり、上あれば下あり。現在残されている諸差別の根源が天皇制にあることは明白な事実だ。しかし人間に上下がないことは万人の認める真理だ。大日本帝国繁栄の為には支那朝鮮を蹂躪すべしと「脱亜論」の中でほざく、有難い一万円札の肖像である御大福沢諭吉大先生でさえ大変ご立派なお言葉を残していなさる。

現天皇は人間天皇として過去の精算なしに死を迎えるだろう。この日を我々は無防備に迎えてしまつてよいのだろうか。十五歳でアウシュヴィッツを経験したノーベル賞作家エリ・ウィーゼル氏は語る。

答へは人を隔てるが問いは人を結びつける。

氏はこの言葉を核への問題提起の為に述べたが、私はこの言葉を借りて天皇制への問いを提起しよう。今、時代はまさに転換期を迎えつつある。天皇制は我々の意識をかすめることなく浸透してしまつている。権威は絶対化され、疑問などさしはさむ余地はないように思える。しかし私は考える、この権威は見かけほど強くはない。真理の無い所に正義はないのだから。人間に上下はない。私はこの真理を天皇制への問の根幹に据えたい。そしてこの問なしに未来は語れない。日本人は五十年前の過ちを繰り返してはならない。我々一人一人の力は無に等しい。パスカルの云う一本の「葦」ではない。しかし絶望は許されない。我々の絶望は権力の最も望む所だ。真理の無い権力の。だが我々の問いも過去の様に脆くも押しつ

ぶされるのであろうか？かつてこう語ったのはヘーゲルであったか。人類の歴史から学ぶことがあれば、それは人類は歴史を学ばなかつたということだけだ。

共通責任論

三年六組 大河内 勝 秀

現実がとりまくあらゆる情況の下で、個々人の存在の意義の認識や世界認識の低迷は、日本はみせかけだけに過ぎないが「平和」だ、と叫ぶ日和見主義者を後世へと残存せしめる源となる。ではどのようにして大衆の政治的無関心と中産階級の個人主義を正のベクトルへ修正してゆくべきか、そして、これからの日本に生きる私たちは、どのような政治的、思想的、社会的立場に自らを位置づけるべきなのか。また核の恐怖や経済的不安定についての無味乾燥な空論よりも無償の行動ができる精神的若さを現代は欲しているのではないのか。僕はこれらの問題を脳髓から曝け出してみようと思つたのである。ここで歴史的に、地理的に影響を受けた民族意識の、現代の私たちの精神構造における意義について考え、それに基づく国家に対する認識の反映のありかた、そしてそれが戦後四十年においての皮膚感覚としてのものになるための根底からのとらえ直しがせまられている情況について言及してゆきたいと思う。

民族とは、スターリンによると、「言語、地域、経済生活、および文化の共通性のうちに現れる心理状態の共通性を基礎として、歴史

的に構成された堅固な共同体」であるとされるが、それは歴史にその影を反映してきたのであり、アミノ酸から細胞が形成され生物へと進化したように、時間の経過や自然の法則のみには支配されてはおらず、人間相互の社会的交渉がその運命を握っていた。

日本の民族意識の歴史的経緯には、海というものの相対的比重が大きかった。地理的孤立（辺境性）による心理的孤立意識が、日常という安堵の上に腰をおろし、これはアジア的とも言えるかもしれないが、ただ明確にヨーロッパとは異なっていた。なぜならこれは国家的規模に集中せられたアジア的専制、封建、資本主義政治形態に由来し、下からの外向的視点は自発せる契機を付与されえず、農村という閉鎖的空間が共同体的原理と共存するのみであったからであり、それが地理的閉鎖性によってより強固な情況として立ちはだかつたのである。つまりこの閉鎖性の残存の上に大日本帝国という幻想が強制せられたことによって、民衆の低抗力は上からの擬制に及ばなかつたのである。

必然的レベルから現象的レベルに視点を転換してみると、特定身分だけではなく民衆（常民）にも海外との交流があつたことが明らかにされている。それは決して政治的ではなく、一方的交流であつたとしても存在したのである。文学者島崎藤村が作詞したこと有名な「椰子の実」には、漁村にて日常を暮らしていた人々の素朴な意識がありありと描き出されている。

名も知らぬ遠き島より

流れ寄る椰子の実一つ

故郷の岸を離れて

汝はそも波に幾月

旧の樹は生いや茂れる
枝はなお影をやなせる

われもまた落を枕

孤身の浮き寝の旅ぞ

実をとりて胸にあつれば

新たなり流離の憂い

海の日の沈むを見れば

激り落つ異郷の涙

思いやる八重の汐々

いずれの日にか国に帰らん

椰子の実が遠くかなたから漂流して行くことを知って、彼らは海
の向こうの国を夢みたくもされない。民族学の創始者柳田国男の文
章に「海上の道」というのがあるが、それによると椰子の実が流れ
てきた海路にのって日本人は南方から移り住んできたのではないか、
そしてまた日本の文化はいわゆる海上の道を通して影響を受けたの
ではないか、と述べられている。もちろんこれらのことはその部分
的要素になりえたであらうけれども、ここで問題としたのは、やは
り日常から一步も踏み出すことができなかった民衆の閉鎖的な意識
の支配であり、低生産力に基づく低意識であった。

僕は国家という概念を観念化する方法的手段として、民族意識
を中心軸とし、それに肉づけをする。その発生根拠の上下を問わ
ず、一種現象学的側面から第二次世界大戦がもたらした前近代の日
本人の存在基盤の外見的崩壊と前近代の意識の残留の意義を通して

国家というものの深層的性格の位置づけに辿り着きたいと思う。

かつて、社会科のK先生に「国家の幻想性」について質問したこ
とがある。すると先生は次のような要旨の返答をされた。「日本は
中国に戦争責任を負わねばならない。普及が遅れている上下水道敷
設を援助するなどして中国に責任と恩返しをしなければならぬ。
米ヤソ連という国などどうでもよい。あれほどの虐殺があったにも
かかわらず、日本人が置去りにした中国残留孤児という他人を、穴
を掘って埋めてしまったりせざるにめんどろまでみてくれた。中国は
いい国だ。だから日本という国家は中国に対して責任をとらねばな
らない。だから国家は幻想ではない」と。

僕は先生の口調に圧倒されて、その時返事も出てこなかったが、
現在自分の思想の再構築をおこなうにあたって、それに反論する足
場をみつけたように思う。その理論の基盤を言語化するなら、
それは「外への共通責任」と「内への共通責任」とに表現できるが、
全て国家＝幻想のメタファーとしての共通責任という認識を出発点
とし、民族意識の高次での表現としての、つまり「辺境的意識＝民
族意識＝共通責任」というトリアードとしての共通責任を終着駅と
する。終着駅は始発駅でもあるから、ここから始まるのである。

ここで、中国への責任は国家にあるとする見解に対して、僕には
それを、国家への責任転嫁であり、国民自身のそれとして受けとめ
ようとする意識の現れと評価せざるをえない。つまり、国民は国
家を現在の（現存的）、まるで可視的なものとして、そうすることに
よって、その責任を国家に任せておけばよいという幻覚に陥りかね
ないからである。これは国家がメタファーとしてのシンセイサイザー
だということに気づいていないのだ。中上健次がいうように、シン

セサイザーには実体は存在しない。そこから作り出された音が、あたかもそれ自身の本質のように網膜に映るのである。レーニンが「被抑圧階級を搾取る道具としての国家」と規定したのも、その一言にすぎないのだ。国家の表層を深層と感覚させるのは、真の深層が幻想という内的構造だからである。それをたくみに利用したのが、言いかえれば、幻想が不響和音からつくりだした音がファシズムであり、大日本帝国であった。戦後四十年を経て、戦争責任の自覚が薄弱化しているこの情況は、国民の国家に対する認識と国家||幻想との断層によるものである。戦前の大日本帝国に対する意識を違う形でひきずっているのだ。ゆえに、今までは上からの外からの受動的な民族意識であったものを、下からの自生的な民族意識、つまり、その高次での表現としての共通責任への自己意識内での革命を通して、変質ではなく、徹底的破壊によってのみ新たな現実的情況を作りだすことができるのである。戦争責任は決して虚像に課されるものではなく、その国民の現実的な「外への共通責任」であり、幻想の時代の終焉としての共通責任である。

また、この共通責任を総人口一億が一斉に行使することは不可能であるから、それを反映させるべきものが創造されねばならない。それを政府と呼ぶことにするが、媒介的存在としての共通責任の視覚化、現実化をなすメディアであって、決して国家権力という暴力は有しないのである。

ここで、諸外国からの責任を被る場合について考えると、条約の交渉などがこれにあたり、総称として「内への共通責任」と呼ぶ。安保闘争を思い浮かべていただきたい。「新条約の批准に反対するための国会請願の署名数はまもなく一千万の線へのぼった。交通労

働者を先頭として大規模な政治的ストライキが三回にわたって行なわれた。労働組合や学生大衆ばかりでなく、主婦、商人、学者、文人、一般市民の集団——要するにあらゆる世代と階層を含む無数の群衆が全国各地で安保反対の行進に参加した。」これに参加した数を多くみるか少なくみるかはむずかしいが、安保闘争に至るまでの意識の低さが岸信介を安住させたのであり、それは政治のひとり歩きの象徴であった。安保への怒りは六十年代末には薄れてしまった。万博という隠れ蓑によって利那の拍手は消えうせた。それが今もなおめんめんとのさばっている。

これらの考え方はアナーキズムであり、性善説を擁護しているにすぎないという批判もあるかもしれないが、僕はテロを企てているのでは毛頭なく、オブティミストでもない。ただ自己意識内での共通責任の自発的革命によって、太宰治が「かくめい」で謳っているような実際の行動をすることを強調しているのである。共通責任の反映として、国家ははたしてどこに辿り着くのだろうか。この問いが私たちの絶対的問題ではない。手段を目的にしてはならないのである。が、あえて規定するならば、国家は無意識の総体として個人の根底に眠ることになるだろう。

これまで述べてきたように、現在の民主主義の形骸的情況が、政府||国家という等式^⑧がある面で盲信し、かつ、国民と国家との断層の成長による責任転嫁が、より一層の政府権力の人間疎外を増殖させるのであることを、自ら認識し、〈辺境的意識—民族意識—共通責任〉というトリアードとしての共通責任を積極的に行使することを通して、自らをも止揚させなければならない時代はすでに到来している。日本の国旗の存在の矛盾を理解するために戦後を終らせな

ければならない。大日本帝国と日本国の幻想性は異質ではあっても、同類であることに気づかねばならない。なぜなら、国家Ⅱ幻想に日の丸Ⅱ幻想が飾られることによって、一種それが現実性を帯びてくるからである。

僕は盲目的な認識の低迷が、差異化へと収斂せず自己愛に転倒した「現在（戦後）」においては「責任転嫁」として象徴され、それを餌食とする政府権力による人間疎外の繁殖という状況を超越する中心的思想として、六十年代末に廃れた「行動」というモチーフを脱線としてとらえ直し、「現在」という「死霊」たちを、「現在」を漂泊するノマドロジストたちの「共通責任」により鎮魂せしめ、「明日」「明後日」の誕生のための受精に辿り着くための基盤になりたし、ならねばならないと思う。

書くことは容易だ。おまえは行動できるのか、どのように行動するのか、と問われるに違いないし、自問してみた。だが今の自分には何もできはしない。ただそれを含んだ躰がひとつあるのみである。

「現在」という「死霊」が「日の丸」という幻想の紋章を胸に抱き、しかし巨大な「生霊」へと復活せんとする魔力というナイフを僕の背中にいつも感じる。

③(1)羽仁五郎「東洋における資本主義の形成」(『明治維新史研究』所収)

(2)古在由重『思想とはなにか』

(3)国家Ⅱnationと意識するという面もあるがここでは省略した。

立言・強制・死亡の三賢分裂

三年八組 夏 目 投 石

私とKとの出会いが、歴史的必然性に支配されたものならば、Kとイエスとの出会いも、やはり、歴史の意志と考えざるを得ないのかも知れない。この尋常ならざる事実の意味が、私の宗教的概念規定に変化を与えたことは、言うまでもなく、寓話ならざるイエスの復活は、私の学んだ歴史的な知識と近代の科学的唯物観を、根底から覆す結果になった。・・・はずはない。現代のような不信がうずまく社会の中で、仮に、真正正銘のイエスであっても、名乗りを上げたからと言って、誰もおいそれと認める訳はない。いや、初めは、おかしな男だと言われる。しかし、イエスは、イエスで、イエスだと言いつ張ってやめない。ここに、相矛盾するベクトル場が発生する訳だ。だが、本来、やはり一つの人格なのだから、当然、統一場があつてしかるべきである。そこで、トポロジー的解析が必要となってくる。トポロジーとは、位相幾何学のこと、原理は単純素朴なもので、似ていたら同じの数学とでもしておくことにすると、従来の数学では、イコールで結ぶことなど思いもよらなかった。例えば、野球のバットとボールのようなものでも、トポロジーの世界では、ともに一次元ベッチ数ゼロの、ホモログな球面ということ、イコールになってしまう。奇妙な気がするが、これが結構人間の直感の形式に、似通ったものを持っている。別な例として、一次元ベッチ数2のトーラス、つまりドーナツ形のことだが、一応あの形をしていれば、膨んでいようが、ひしゃげていようが、人間の目には同じドーナツだが、コンピューターにとっては、変形ドーナツ

パターンの判別は、やっかいなことからしい。反対に、犬等の場合、ホモロジーでないパンとドーナツでも、原料と製法が同じなら、完全に同じものに見えるにちがいない。トポロジーとは、人間臭いものなのだ。結局、おかしな男とイエスという、二つのベクトル場を統一する場は何か。考えられるのは、まず次のトポロジード。すなわち、自分をイエスだと思いついでいるおかしな男……。もしくは、自分をイエスだと思いついでいるおかしな男……。だと思いついでいるイエス……。又、トポロジードとは、構造模型（この場合、イエスだと思いついでいるおかしな男）を作っておけば、位相転写は容易である。その例に、おかしな男は、よくよく見込みのなしい、生活の落伍者だと、レットルを貼られ、現実逃避へ向かう。しかし、逃避する場も、金も恵まれず、やがて、自分自身の変形を夢みるに至る。そこでこのホモログ転移があったというわけだ。この場合、イエスだろうか。いずれにしろ、可能性ということから、断定はできない。ここは、一応、イエスはイエスとでもしておこう。

さて、どの辺りまで話が進んだのやら、うむ、Kについて、話しておくべきことがあった。彼は、官僚を辞めた理由がわかるような気がする。なった。私は、彼が、官僚を辞めた理由がわかるような気がする。彼の精進への道の為だろう。そんなKが、最近、講義にも、たびたび休むようになった。そして、とうとう倒れてしまった。私は、Kの身を安じて、見舞いに行くと、そこに、一人のみすぼらしい身なりの男が立っていた。「やあ、投石。見舞いに来てくれたのか。心配かけたな。でも、たいしたことないんだ。一、三日で退院だっところだ。こちらの方は？」と、私が尋ねると、Kの顔は少し曇った。

「実はさ。これなんだよ。」と言って、Kは額の横で、人指し指をまわして見せた。「自分をイエスだと思っているらしい。」「楽しいじゃないか。宗教論の二、三を説いてやれば、どっかに行ってしまう。仏教は、君の得手なのだ。」「そうだな。いくら、自分がイエスだと思ついても、キリスト教について知っている訳はないんだから。」Kも軽い調子に戻った。私は、二人の会話が始まるのを待った。Kは、真向からイエスとむかいあった。「イエスに聞く。キリスト教の本質とは何か。」Kも私も、男が失言するのを受け身に待った。「人生を解釈する。それが信仰の本質なのです。我々人間は、この世に生を受けたからには、神に奉仕しなければならぬ。神の意志を遂行しなければならぬ。しかし、世俗の信仰に縛られた人々は、我々の生命が、神に仕える為に与えられたものということを認識しないのです。——我々が喜びと呼んでいるもの——食べたり、飲んだり、浮かれ騒いだりすることは、これを人生の本体とするならば、決して喜びでは在り得ない。我々が、別のもの、つまり神の意志の遂行を求める時、初めて、これらのものが喜びとなり、そしてその喜びが、真の酬いとして、神意の遂行に続いて起こる。神意の遂行なしに、喜びを獲得しようと欲したり、喜びのみを労苦から切り離したりすることは、取りも直さず、茎から花をもぎ取って、根のないやつを植えるのと同じです。我々は、それを信じています。従って、真実のかわりに虚偽を求めることはできないのです。人生の真の幸福は、その喜びに在るのではなく、喜びという考えや、喜びに対する期待なしに、ただひたすら神意を遂行するところにある。これが、我々の信仰の本質です。」Kは心の中で思った。どうも腑に落ちない。荒唐無稽なことを、うまくとめていている。正気なく

せに、おかしな男を装っているのか。「なる程ねえ。確かに、この世の生活が、靈の渴望する幸福を与えてくれないが、それが、君の欺瞞が幸福を与えてくれるという証拠には、別にならないからねえ。ほかでもないが、君は、人生の諸々の出来事にまつわる災厄不幸から人間を脱却させる為に、人生そのものを否定している。そこに、君の欺瞞がある。君は、幻滅を避ける目的で、魅惑を否定しているのだ。」「いいえ、それは正しくありません。なぜならこれは、神の意志だからです。」「何によってそれが神意とわかるのだ。」「絶対に求めることをしなければ、神意の指示なんてものは、絶対に発見できないでしょう。が、絶えず求めていけば、明確にわかるようになります。私の啓示したこと、又、自己の心と他人の思想の研究によって、さらにこれが一番肝腎なのだが、他人に対する愛によって、私は神の意志を知ることができるのです。」「それではどうもあんまりあやふやじゃないか。」「そうですか。それでは言い換えさせてもらいます。人間は、天なる神の前では、万人平等なのだから、その身分からいっても、又精神上及び肉体上の特質からいっても同じく平等なのです。従って私たちの選択は、何物にも局限されるはずはありません。自己本意の選択、自己の個人的快樂の爲の選択は、よしんばあっても、首位を占めず、二の次、三の次になっている次第です。常に神意を犯すことのないようにしよう、そこが肝腎なのです。」「君の話は、荒唐無稽の矛盾の塊。それこそ神意への違背というものだろう。君は、人間の本性を全く理解してないのだ。」「そうですね。ところで人間本性とは、一体何でしょうか。人間は、動物的存在である以外にさらに人間でもあるのです。従って、諸々の欲望が、人間の動物的本性に一致しないことは事実ですが、人間の

理性に照らされた本性には、これは、びったりと合致します。よって私たちが、動物的本性に奉仕する為に、理性を駆使するようなことがあれば、動物にも劣る存在になります。が、理性に貫かれて自己の本性を、動物的本性の抑圧に行使し、動物的本性を理解に仕えさせるようにしたら、その時初めて自分を満足させるような真の幸福を獲得することになるのです。」「君の自己欺瞞、君の生活には、詩も遊戯もない、ただひたすら去勢した牛よろしく汗水たらして働く。君のその格好は何だね。果して、そんな生活が、人間の意志と本性に対する我まま勝手な無神論的な否定でなくてなんだろう。」「要するに、『君は、自己の精神の目標としているものを完全に把握していない。いや、それどころか、他人を欺瞞している。暴力強制と財産私有とを否定しながら、同時にこれを利用してしているじゃないか。』というのが、非難の要点のようですね。そこで、もし、我々が真剣な態度で、信奉する真理に向かって精進しているのだったら、欺瞞云々という非難は正しくないと言わねばなりません。我々は、愛のうちに幸福を求めています。そして、暴力強制や財産私有を排撃します。しかしまだまだ完全な域からほど遠く、各人各様、思い思いにこの幸福という目的を達成しつつあるのです。」「なる程ねえ。しかし、どうして信者は奴隷根性と絶対的屈従をもって信じるのだ。それを見ると、ムラムラッと反感が起きてくる。」「思い違いをしているのでは。信者が、こうした信仰をもっているのは、私が命じた訳ではなく、事實はむしろ正反対で、全身全霊をあげて真理の認識、天なる神との交感を求めている人々は、真の幸福を求めている人々はですね、どうしても私の歩んだ道に到らざるを得ないので、神を愛する人々は、皆この道に落ち会うのです。』

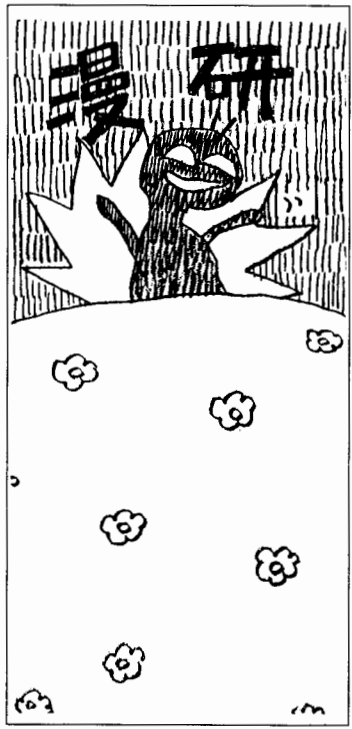
Kは返事もせず、黙然として座していた。「イエス、君は幸福か。」「はい。宏大な幸福に恵まれている気がします。」「そうだな・・・って認める訳にはいかん。まず、君がイエスだという証拠がなければな。」「私に、公理を証明しろと言うのですか。公理が証明不可能なことは、高校の初等幾何において、はっきりと示されているのです。」「ちよっと、君、それは次元が異なるね。君が、もし本当にイエスならば、固有の文化的証拠品の一つぐらいは持っているだろう。」「在りません。私は転生したのです。」「つまり、イエスの属性たる血液型・X線なんかも無効か。」「無論です。」「しかし、我々の経験律の範囲内では、転生は在り得ないし、歪んだ像が、歪んだように鏡に映って当然である。逆に、正常に映ったりしたら、それこそ道理の敗北ではないか。」「ユークリッド空間の外に出れば、平行線も平行ではなくなるのです。」「ここは寓話の世界じゃない。実話の世界なんだ。」「さあ、どこまで本当だか・・・。」「

その時、Kは必死の反撃に出た。「正体見たり枯尾花。おまえはイエスではない。おまえの懐のコアラのぬいぐるみ。そいつは、亜流派の新興仏教・・そう普説個阿羅教のぬいぐるみ。どういふことだ。説明してもらおう。」「そこまでだ。悪かったな、K。僕が雇ったのだよ。冗談、そう冗談なんだな。私は弁解してみせた。」「これが、これが冗談だって、病人に対する冗談。死にかけた人間に、引導を渡すような行為。馬鹿にするな。僕は怒ったぞっ。うっ、苦しい。」「Kっ。」彼は、発作を起こした。すぐに医者が駆けつけておさまったが、睡眠薬が効いて眠っているKを後にすることはできなかった。ので、Kの隣りのソファで一眠りすることにした。目を覚ました時、眼前に首を吊ったKの死体が在った。そばに走書きで、「私は馬鹿

だ。」とのみ記されていた。混迷とした頭に、ノックの音が響いた。そのドアのむこうには、かつての恋人、お嬢さんが居た。

康式ニエスの好きな人、興味がある人、

まじヤリ厄いと思ってる人び
 やる気のある人は、体力のほうこう
 なーに一度来て下さい。見学
 びもマネージャー、希望も
 及まいません。

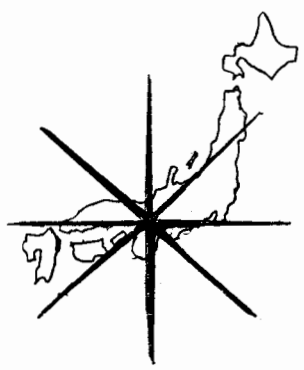


軟式野球部は運動場が大阪城で休日以外は
 毎日練習しています。とてもけじめがあり
 練習には気迫が入っています。先輩後輩の
 仲も良くとても楽しい人達ばかりです。野球
 の好きな方、クラブを楽しみたい方お待ち
 しています。

地歴
 ち れき

部員求ム。
 大手前の文化部中
 最も教養あるクラブ
 現部員数……二名
 現顧問数……四名

相手は地球だ
 かが、てこい!!



登山部
 練習は月～土の放課後
 登山は年一回(合宿を含む)

— 各クラブに聞く —

クラブ アンケート

今回、各クラブに対し、アンケート調査を行い、実態(?)を探ってみました。クラブ入部の参考、又、他のクラブの知らない面、隠された面を知ることができ、る機会もあるので、どうぞ見てやって下さい。

アンケート内容

- Q1. あなたのクラブの部員数はどのくらいですか？
- Q2. クラブのモットーといえは？
- Q3. クラブの名物といえは？

- Q4. 活動はどんなですか？つらいですか？それとも……？
- Q5. クラブでの合い言葉や隠語などありますか？
- Q6. クラブに入って身についたことはなんですか？
- Q7. あなたのクラブではどういう部員を望みますか？

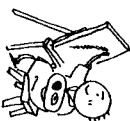
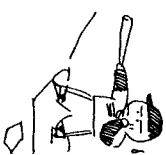
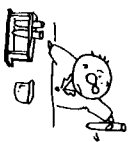
※以下の表は各クラブの個性を忠実に再現するために、編集段階では、ほとんど回答には手が加えられていませんのであしからず。

(よーするに誤字などは、クラブの責任だったりするのである)

※このアンケート表の作製にあたり、某クラブに多大なご迷惑をおかけした

ことを誌面も借りてお詫びします。(by 福島センセー)

※表は基本的にあいさとお願になっています。



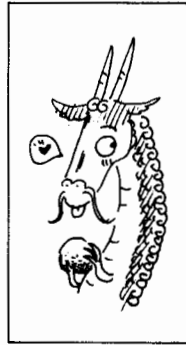
ESS	A1	女の子ばかり10人いるよ	A2	明るく楽しく英語を学ば-	A3	外人さんとのspeech!	A4	週に3回で、ほとんど楽しい
	A5	別にもりません	A6	ヒアリングに慣れて、少し、英語を話せるようになった	A7	いざという時に役に立つ英語を楽しく身につけたい人		
映画研究	A1	2年男子6人、女子定まらず	A2	素敵な映画を作って、人々を感動させること	A3	文化祭・文クラ発表会の時の自作映画発表	A4	文化祭・文クラ発表会の前後のみ
	A5	なし	A6	ものを創造することの素晴らしさ	A7	自作映画を作りたい人(脚本さん及び出演者)		
演劇	A1	女ばかり8名	A2	明るく楽しく何でもチャレンジ!	A3	某N氏	A4	知らず知らずのうちにこむ
	A5	そのつどのセリフが面白い言葉に	A6	大きな声が出るようになり、度胸がつく	A7	とにかく何でもやりたいという人、男女問いません		
聲音	A1	男子7名女子16名で4バンド	A2	楽しく聲音明るく聲音まじめに聲音青春聲音	A3	文化祭と文クラ発表でのバンド的なライブ!	A4	週に1回、各バンド1、5Hずつ
	A5	ROCK'N ROLL REVOLUTION!	A6	緊張しない方法	A7	やる気があり個性的な人、初心者も歓迎		
コーラス	A1	男子9名、女子16名もいます!	A2	清く!正しく!美しく!みんなのこころや♪	A3	前部長夫妻...あーっ!ごめんさーい!あ!	A4	週末3日制で練習は比較的ラク
	A5	S氏=シロとOさん=はくちようさん...ごかい	A6	そりや当然「歌う心」と「女情」です???	A7	歌うん大好きな子、特に女子、もちろん男子も大歓迎!!		
写真	A1	9人	A2	自由に撮影して、自由に現像・プリントする	A3	各役員それぞれが、名物なのである	A4	行事前後は少くも個人活動、たまに懇談会も
	A5	そんなもん無い	A6	現像・プリントの技術、暗闇の中での手作業	A7	明るく、写真好きで、時間的余裕のあり、まめな人		
書道	A1	1年2人、2年5人の計7人です	A2	集中!	A3	練習後の1杯のcoffee....	A4	自分のやりたいことのできるなので、楽しい
	A5	世間話(特に我が校のスターについて?)	A6	書道が楽しくなった	A7	何か書きたいな...と思っておられる方ならどなたでも!		
新聞	A1	14人(男8女6、内運動部4)	A2	明るく楽しく強烈に!柔には柔、剛には剛。	A3	他校訪問。'87年は府立白菊高校に行った	A4	隔立して100回、腹筋50回、背筋501?
	A5	放送禁止用語を中心に、いろいろと。楽しくやっています	A6	MJユニーから馬小屋と交換してもいいぜ!	A7	元気、生意気、活気、根気、勇氣、負ん気、勇氣ある人		
吹奏楽	A1	男子14人、女37名	A2	人間関係を大切に。文クラ面道!?	A3	部室、クラブノート、前会長と副会長?	A4	大多数「たのしい!」ごく少数「つらい!」
	A5	周平タイム、オ〜[?] (部内でも理解できる者少数)	A6	芸・技・闘、するどい笑っ込み、人とのつきあい方	A7	ヤル気のある人ならどなんでもOK		

生物	A1	2人だよ、少数精鋭主義	A2	立派な生物飼育技術を持った人材を育成する	A3	おきあいあいとした人間関係	A4	練習はとくにないが、自分の技術のみが味方
	A5	千変万化、これが一子相伝の生物部にふさわしいのだ！	A6	生物の命の尊さ、こつこつと根気よくする忍耐力	A7	飼育技術のしつかりした人、女子部員優遇		
地歴	A1	新3年生2人のみ！	A2	たかが地歴、されど地歴！	A3	部員2名に顧問が4名の徹底した英才教育！	A4	個人の個人によるクララのための研究！
	A5	先輩！次こそは必ず行きます！	A6	先輩にいびかれても微動だにしない忍耐力！	A7	我々に選ぶ余裕はありません		
美術	A1	1年生2名と変な2年生が2名	A2	自分の好きな分野を自主的にやることです	A3	何か出てくるかわからない部室	A4	かなり自由がきいてきさくなクラブです
	A5	大阪城にまつわる破られたことのないジャンプがある	A6	やることかタイタンになった私 (部長談)	A7	みんな違うタイタンの人なので、どんな人でもいいです		
文芸	A1	男子…2人、女子…11人	A2	恋愛持禁止！個性を持つこと！	A3	傾いた天井、忘れた頃に出る部誌	A4	行事前はノタバタと…
	A5	締め切りいつだったあ？印刷終わったあ	A6	先輩との楽しいつきあい方と素敵な文学的センス	A7	原稿を書いてくれる人、或いは、ちゃっかりした会計		
理化学研究	A1	22名もの豊富な部員数	A2	無理！無駄！無駄！の言葉に負けない精神	A3	理研の全てが理解できる雑記帳という日誌	A4	3つの班に別れて活動し、それぞれが楽しい
	A5	たまっている。部員でさえも全てを把握できない	A6	天文に詳しくなったり、パソコンが稼げるようになる	A7	普段はちやらんぼらんでも、やるときはやるような部員		
剣道	A1	部員19名、マネージャー3名	A2	清く正しく美しく	A3	みんな楽しんで夏の合宿生活	A4	日曜休みの短時間練習、つらくなんかない！
	A5	“声出していこう”“オウ！”さあ愛の祭り稽古だ	A6	礼儀を学び心身共に強くなる	A7	やる気のある人、やってみたい人初心者可能		
サッカー	A1	2年28人、3年23人の計51人です	A2	チームワークを大切に！	A3	励みけにおもしろすぎる人たち	A4	他のクラブと比べるとたぶん楽でしょう
	A5	さあー、ありすぎてわかりません	A6	人目を気にしない大胆さ、そして団結力かな？	A7	やる気があるって、サッカーの好きな人ならいいな		
柔道	A1	男子16人 女子6人	A2	人生楽ありや苦もあるさ	A3	来てのお楽しみ	A4	毎日柔道にいそしんでいます
	A5	教えたら隠語にならないので秘密	A6	筋肉	A7	女子でも初心者でも気軽にどうぞ		
水泳	A1	40人(うちマネージャー5人)	A2	なせば成る	A3	陸上トレーニングの1つアサラジと夏の合宿	A4	シーズン真っ最中にはかなり楽しいです
	A5	特にありません	A6	楽しい練習にも負けない気力と体力が身につきました	A7	やる気の十分ある人。経験者がいます		
制作ダンス	A1	1年14人、2年8人、3年12人	A2	一日一膳(美容と健康のため??)	A3	きらびやかな衣装、ですね、やっぱり	A4	苦しい時もあるけれど、楽しく踊っています
	A5	「大手前ダンス部〜、フナイト〜!!」	A6	美しいラジオ体操の仕方と舞台挨拶	A7	どんな人でもOK！強いて言うなら個性的な人		

男子 ソフト ボール	A1	2年のみ18名、フネージャー5名	A2	鳥飼高校に勝って1部優勝すること	A3	特になし	A4	つらい日は少なく、楽しい日も少ない
	A5	ただ今募集中です	A6	知力・体力・時の運とこまをすること	A7	今の部員のような性格をしていない人、まじめな人		
卓球	A1	男子部員7人、女子部員5人	A2	"スラッシャー杯の努力"をしよう	A3	そんなところにはないボロツチイ卓球台	A4	つらい時もありますが、楽しくやっています
	A5	(回答なし)	A6	一緒にクラブをしているという"逆巻"です	A7	初めての人も、経験のある人でもどんな人でも大歓迎		
登山	A1	男子10人、女子7人、顧問4人	A2	一丸となって挑戦する	A3	①殺人的ハード練習 タ走り、セプトなど	A4	いろいろな練習をこなす、成長ものほるぜ!!
	A5	Fresh, Fight, For the club	A6	人数多少のことでは死に至らないという信念、気力	A7	明るく誠実でヤル気満々の人は大歓迎するのであった		
模試テニス	A1	全学年合わせて41名です	A2	練習時間が短かいので、とにかく集中する	A3	それは入ってからそれぞれ探してください	A4	思った以上に楽しく、気合いが入っています
	A5	クラブ名物同級生入ってからのなので、あえて言いません	A6	いろいろありますが、いつのまにか集中力がつきます	A7	とにかくやる気があつて、クラブをもちたててくれる人		
軟式テニス	A1	3年生10人2年生11人1年生19人	A2	苦しい時は楽しいけれど、楽しい時は苦しい	A3	でこばこでよくこけるコート	A4	たのしく遊びましょう
	A5	このクラブ員の言うことが全部、合い言葉と標語	A6	世渡り上手になり、嫌い言が多くなくなったと上達した	A7	もの静かで上品な人、男子部員、他どなたでも結構です		
男子 バスケ ボール	A1	2年8人、1年9人の計17人	A2	先輩と後輩がお互い助け合って仲良く楽しく	A3	夏休みに行う長野県の山奥での楽しい合宿	A4	つらいときもあるが、それだけに楽しい
	A5	"闘志" この合い言葉に従って西地区でできれば大阪制覇	A6	全ての面での行動の切り換えが素速くできるようになる	A7	やっぱりヤル気のある人、次に実力・背だけのある人		
女子 バスケ ボール	A1	プレイヤー28名フネージャー3名	A2	走れ-走れ-コラコラ	A3	女子バスケボール部名物「おたべ」	A4	クラブはさんどいが、山あり谷ありで良い
	A5	「今日は梅林」とフネージャーの声、花子、山げん?	A6	どういう理由か、足ぐせの悪さと大きな声、その他にも	A7	どんな人でもOK!特にフネージャー-求む(求人案内)		
男子 バレー ボール	A1	3年生7人 2年生4人 計11人	A2	心・技・体の追究と自己の形成	A3	何とも言えない雰囲気をもっと出す連呼	A4	基礎体力をつけた後、バース、アタックを練習
	A5	「さあ一行こう!」「おう!、おつとめ、勝の病院等	A6	強靱な精神力、同じ苦難を経験した仲間との友情等	A7	怪談、初心を問わずやる気のある者。フネージャーも		
女子 バレー ボール	A1	2年9人1年21人の大所帯です!	A2	バレー大好き!今日も一日元気でガンバロー	A3	合宿の時、毎朝歌う(曲は?)! 投票!!	A4	つらいけど、終わった後の充実感がいい!
	A5	うーん、今は数えられません、知りたい人は入部せよ!	A6	体力と根性と忍耐力です (本当は塵じさです)	A7	どんな人でもOK!だけど、特にやる気と根性のある人		

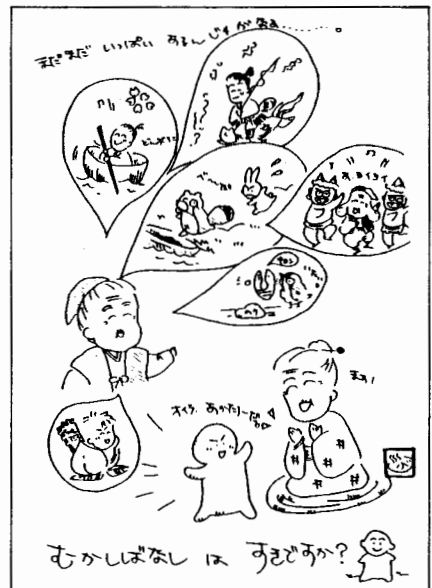
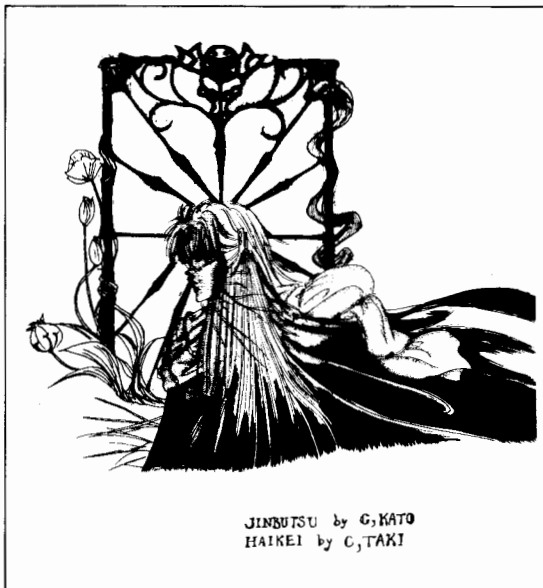
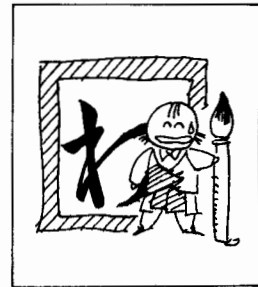
硬式野球	A1	26名(内、マネージャー5名)	A2	練習にも勉強にも一生懸命にかんばること	A3	坊主頭と、元気いっぱい大きな声です	A4	戲しの中にも楽しさがあふ最高の練習
	A5	特にありません	A6	礼儀や根性が身につくこと	A7	野球が好きで、やる気がある人なら大歓迎します		
軟式野球	A1	部員28名、マネージャー7名	A2	力ある者が勝つ、自分から積極的に	A3	一人一人が強烈なキセラクターです	A4	楽しいのが軟野のとりえです
	A5	(回答なし)	A6	積極性が身についた	A7	高校生活をENJOYしようという者！待ってます		
ラグビー	A1	部員30名、マネージャー6名	A2	明るく楽しく、そしてやる時はやる	A3	白馬への夏合宿、演芸大会、etc	A4	楽しく活気があり、毎週日曜日は休み
	A5	Three Cheers For 大前!	A6	忍耐力とチームワークと根性	A7	ラグビーが好きで、やる気のある男子		
陸上競技	A1	1、2年生で約50名います	A2	Step by step 一歩一歩確実に	A3	合宿・暑期練習時の追い抜き400m10本	A4	つらいけどそれを乗り越えた時は最高です!
	A5	「フライヒトラー」「フライトフライ」HOHFC「オー」	A6	忍耐、集中力、筋肉、優しさ、思いやりなど	A7	根性があり素直で何事にも一生懸命な人ならどなたでも		
英語研究 同好会	A1	みんな集めて7人くらいですか	A2	明るくまじめな大前さんのマツサーブ師	A3	現役よりもOBの方が活発に活動している事	A4	日頃から英語をよくよく聞いておく事です
	A5	おもに前置用語を使い漢語は多すぎて書ききれません	A6	緊張と言う者が頭から消え話す事が大好きになります	A7	英語等演芸一般に興味をお持ちになっている人どなたでも		
ゲーム研究 同好会	A1	たったの4人	A2	負けても常に明るく、インチキなし!!	A3	バウンズマンボール(主に)その他いろいろ	A4	ない
	A5	ある。入ってみたいはわかることだ	A6	相手の心理を読むこと、又、運がよくつく	A7	だれでもいいから入って下さい (男女問わず)		
楽道研究 同好会	A1	87年12月上旬時点で3名	A2	「清く 正しく 美しく」(まさか?)	A3	現会長!	A4	文化祭などでの発表の準備がっついてすね
	A5	以前は漢語があったようですが、現在は全く……	A6	教道趣味というのには実は奥が深いことを認識しました	A7	できるだけ日本全国の教道にぐわしい人を		
P. C. C. (Personal Computer c.)	A1	現役正部員は2名、他数名	A2	部員に強制して物事をさせぬ、自由な同好会	A3	いわゆるひとつのバラルルール!!	A4	練習というものはなくいつも実践です
	A5	合い言葉は「いつかは部へ昇格だ!」	A6	忍耐…? (孤独に耐える力)・知識…?	A7	コンピューターに関心、興味のある人		
ギター 同好会	A1	7人いるが2人は足がない	A2	明るく楽しくたくたく	A3	まりちゃんとかおりちゃん	A4	仲間と一緒に曲を弾いたり歌ったり、楽しい
	A5	「何capoやったっけ?」「こわいな~~~~」	A6	ひたすらギターを弾くことと無意味な笑いと協調性	A7	まじめに活動してくればほんとに人でもいいですよー		
漫画研究 同好会	A1	11人もいますよ!!	A2	清く明るくたくたくと心優しくよく励む!	A3	複雑怪奇な必殺あみだくじ!!	A4	前向きに培える精神が全ての基礎となるのだ
	A5	締め切りのびたよ〜ん!!	A6	たくたくと人生を生きぬく力と支那の心	A7	おしとやかで構えたい大和撫子(男子でも可)		

Lists: by M. Tatsumi



イラストわいわい

たくさん集ったイラストの中から、ほんの一部ですが御紹介します。



|| 編 集 後 記 ||

<p>亀岡由子 やっとなり完成しました。できれば全部読み通して下さい。この一冊があなたの幸福の種になりますように！</p>	<p>岡崎博子 昼休みのないこと、メ切りのこわさがよおくわかりました。それでも楽しかったです。</p>	<p>大塚正恭 多くの先生と接する機会をえ、刺激をうけたが、そこで得た一つの真理とは——「先生には叶わない」——ということ。オ [O:]</p>
<p>是沢智美 昨年よりもあわたしかったけど、やりがいがあったってよかったと思います</p>	<p>渋谷 彰 なに苦勞もせず楽しくやれたからよかったで。初めはやる気はなかってんけどなあ。</p>	<p>巽 雅洋 やっとなり終わった！クラブアンケートにあたり、ご協力下さった方々、どうもありがとうございました。</p>
<p>松本細香 いろいろな人に、いろいろな場面でお世話になりました、どうもありがとうございました。</p>	<p>後川貴美子 文章を書くということがこんなに難しいとは思っていなかったけど、他の面で楽しかったし、いい経験になりました。</p>	<p>梶間貴志 取材ほどしんどきものはなし。くそー！俺の時間を返せー！足が痛いではないか！貴重な土日返せ！</p>
<p>唐津征司 スプリング編集中、クラブにあまり出られず、登山部の皆様、ご迷惑をかけました（かもしれない。）この場をかりておわび申し上げます。</p>	<p>小路 淳 クラブとの関係で編集委員会にもあまり出席できず、仕事もあまりしなくて存在感のなかった僕です。</p>	<p>丸本優雅 昼休みはなく、しんどくって、つらい日が続きました、と、いうのは全くのウソで、とっても楽しかった！</p>

SPECIAL THANKS TO

岡田賢子さん、市川公子さん、谷崎ちなみさん、小国ゆかりさん、藤沢和行君、久野晃君、文化委員、地歴部、投稿、校正していただいた先生方、その他大勢の皆様、御協力どうもありがとうございました。又、一部の原稿、イラストを掲載できなかったことを深くおわび致します。

顧問 縣喜樹 福島直子